

(資料作成者注：次の「第Ⅲ部」の内容については、2024年2月、3月及び10月に、関連する原典に当たって、変更がある箇所については最新の記述に基づいて修正し、また、現時点では削除された記述についても従来の内容が引き続き妥当であると判断できるものについては、その旨を注記したうえで踏襲して掲載してあります。)

第Ⅲ部 ドイツにおける労働安全衛生を所管する行政機関及びドイツ法定災害保険の組織体制と活動状況について

1 総括的事項

ドイツでは、1884年の公的労災保険（「ライヒ保険法」による。）の制定以来、被雇用者の安全及び健康に関する使用者（又は雇用者。以下この節では「使用者」という。）の責任は、原則的に確立されていたとされており、労働災害防止に関する法的根拠を有する監督行政及び指導については、「営業法」に基づく各州の営業監督行政、ライヒ保険法(後述する1996年の公的労災保険の社会法典への編入を含む。以下同じ。)に基づく技術監督員による査察指導等が二元的に行われてきている。

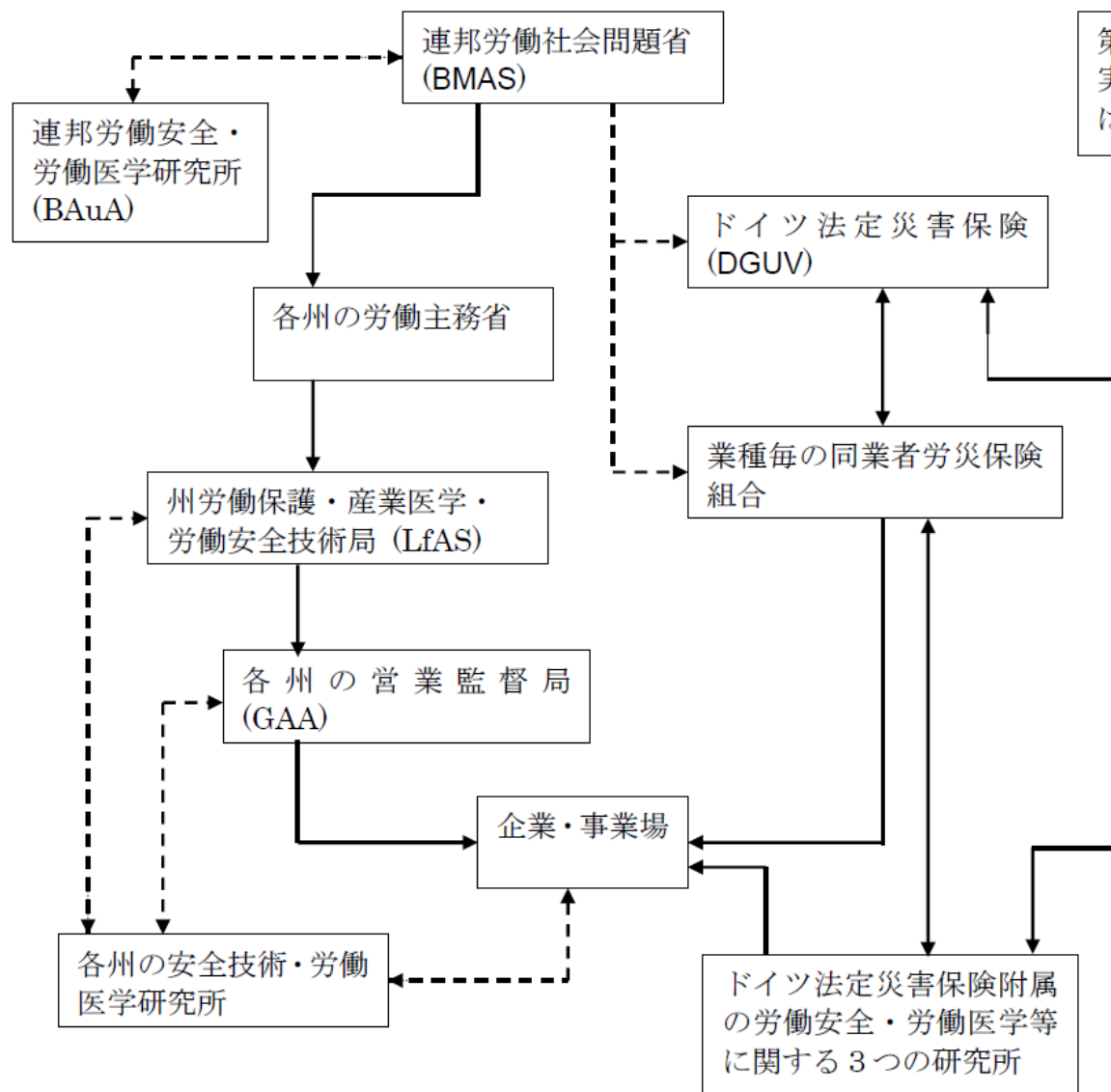
また、後者に基づき、Berufsgenossenschaften(同業者労災保険組合；略称BG)が制定する労働災害防止規程によるより具体的な安全衛生措置等が実施されているとともに、1974年12月から施行された「産業医、安全技師及びその他労働安全専門員に関する法律」によって、使用者による産業医及び労働安全専門員の任用、これらの者の任務、資格要件、専門知識を行使する際の独立性等が規定された。次に、1989年6月12日に出されたECの労働安全衛生に関する枠組指令(89/391/EEC)をドイツ法に転換するために制定された「1996年8月7日の労働保護に関するECの一般的ガイドライン及びその他の労働保護に関するガイドラインの実施に関する法律」中の第1款の「労働時の就業者の安全及び健康を改善するための労働保護措置の実施に関する法律(労働保護法)。以下「労働保護法」という。」の制定、施行によって、労働者の安全及び健康を確保するための法体系が一層整備された。加えて、「1996年8月7日の公的労災保険を社会法典に編入するための法律(労災保険・編入法)」により、従来の「ライヒ保険法」による技術監督員による査察指導、労働災害防止規程の意義及び制定等が、社会法典第7巻 公的労災保険にほぼそのまま引き継がれている。

さらに、2008年にはBGを近代化するための法律が制定、施行されて、時代の経過に伴うドイツの産業構造の変化(製造業等の第2次産業からサービス業等の第3次産業への変化等)を踏まえて、それ以前には産業部門だけで35に達していた同業者労災保険組合(BG)を9に集約化する等の制度改正が行われ、また、2013年には労働保護法の一部が改正、施行された(後者については、後述する。)。また、ドイツでは、国家は法律で大枠を定めるが、その実際の実行は、各州(ラント)、同業者労災保険組合等に委ねられるのが特徴である。

2 所管行政機関の体制及び活動状況

(1) 労働安全衛生を所管する連邦政府、各州、ドイツ法定災害保険、同業者労災保険組合(BG)等による労働安全衛生を推進する体制の二元性

ドイツにおける労働安全衛生に関する保護対策は、前述したように 2 重構造になっている。即ち、一つは、ドイツ連邦政府（連邦労働社会問題省：Bundesministerium für Arbeit und Soziales、略称：BMAS）の安全衛生に関する法律及び規則（EU の指令によるものを含む。）、これを管理監督する各州の労働主務省、労働保護・産業医学・労働安全技術局、安全技術・労働医学研究所、営業監督局と、他方は、ドイツ法定災害保険及びその傘下の同業者組合が制定する労働災害防止規程、これらの履行を促す労働監督員による査察指導等である。上記の二元的関係を第 2 図に示した。



第2図 労働安全衛生を推進する体制の2元性
 実線の矢印は直接の指揮命令系統があること、点線の矢印は連携・協力関係にあることを、それぞれ示している。

(2) ドイツ連邦政府労働社会問題省（BMAS）の労働法及び労働安全衛生を所管する部局について

2021 年 1 月時点での同省のウェブサイトに掲載されている英語版の組織図によれば、労働法及び労働安全衛生を所管する部局は、次の表のとおりである。

[資料出所]：2021 年 1 月現在のドイツ連邦政府労働社会問題省ホームページ中の英語版の同省の組織図、

http://www.bmas.de/SharedDocs/Downloads/EN/organigramm-bmas-en.pdf?__blob=publicationFile&v=4

(次の図のとおりである。最終閲覧日：2024 年 10 月 17 日に、内容に一部変更があることを確認し、必要な個所を修正しました。今回の変更箇所については、「青字」で表記してあります。)。具体的には、次の課等が廃止されています。

Division V b 6 Compensation Benefits, Participation and Medical Treatment in Social Compensation Support for Implementing Book XIV of the Social Code (第 V 部 b 6 補償給付 社会補償への参加及び治療 社会補償 実施支援 社 会 法 典 第 14 巻)
Referat V b 7 Basic Policies and Benefit Legislation

~~relating to Social Compensation
and Social Code XIV,
International Social
Compensation Issues,
German Assisting Authority
Foundation “Anerkennung und
Hilfe~~

~~Administrative Office
Foundation~~

~~“Anerkennung und Hilfe”~~

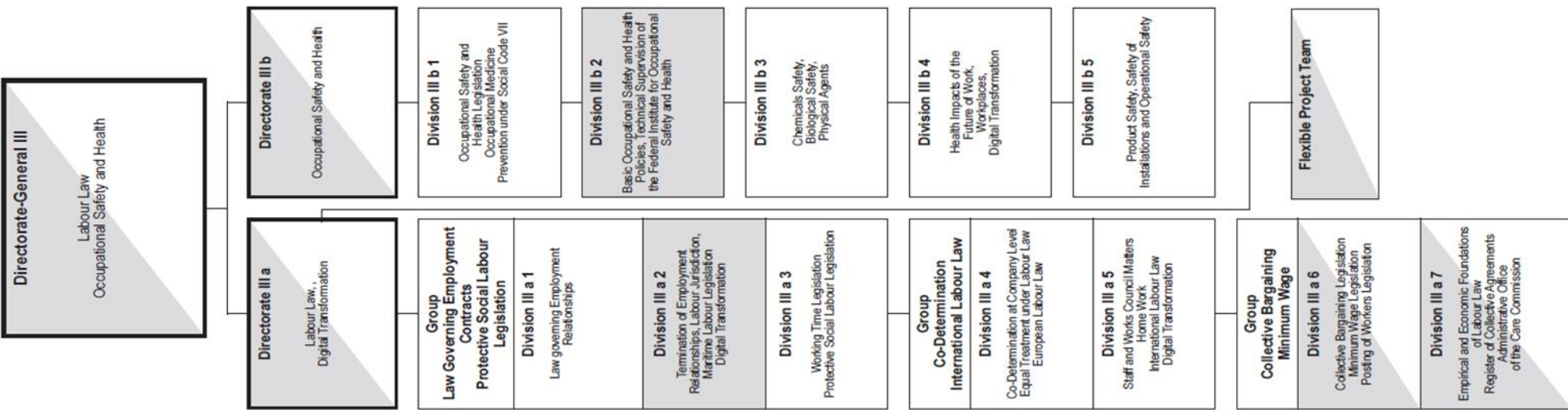
~~—(参考文献 V b 7—~~

~~社会補償に関する基本方針及び給
付給付法制~~

~~補償 及び社会法典 XIV、—~~

~~国際社会補償問題、—~~

~~ドイツの支援機関社会補償基金)~~



（資料作成者注：上図の組織の名称、下部組織及び所管事項は、次の表のとおりである。また、2024年10月17日に廃止されたことが分かった箇所については青色で表示してあります。））

名称	左欄の下部組織の名称及び所管事項	左欄の下部組織の名称及び所管事項	左欄の下部組織の名称及び所管事項
Directorate-General III Labour Law Digital Transformation Occupational Safety and Health （第Ⅲ総局 ● 労働法 ● 労働安全衛生）			
			Flexible Project Team （柔軟なプロジェクトチーム）
	Directorate III a Labour Law Digital Transformation （第Ⅲ局 a ● 労働法 ● デジタル変革		
		Group Law Governing Employment Contracts Protective Social Labour Legislation （雇用契約法、社会保障関係労働	

		法のグループ)	
			Division III a 1 Law Governing Employment Relationships (第Ⅲa 1 課 雇用関係法)
			Division III a 2 Termination of the Employment Relationship Labour Jurisdiction Maritime Labour Legislation Digital Transformation (第Ⅲa2 課 ● 雇用関係の終了 ● 労働裁判 ● 海上労働法制) ● デジタル変革
			Division III a 3 Working Time Legislation Protective Social Labour Legislation (第Ⅲa3 課 ● 労働時間法制 ● 保護及び社会的労働法制)
		Group Co-Determination International Labour Law	

		(共同決定、国際労働法のグループ)	
			Division III a 4 Co-Determination at Company Level Equal Treatment Under Labour Law European Labour Law (第Ⅲa4 課 ● 企業レベルでの共同決定 ● 労働法の下での均等待遇 ● 欧州労働法)
			Division III a 5 Staff and Works Council Matters Home Work International Labour Law Digital Transformation (第Ⅲa5 課 ● 要員及び作業の審査問題 ● 家内労働 ● 国際労働法) ● デジタル変革
		Group Collective Bargaining Autonomy Minimum Wage	

		(自律的集団交渉、最低賃金に関するグループ)	
			Division III a 6 Collective Bargaining Legislation Minimum Wage Legislation Posting of Workers Legislation (第Ⅲa6 課 ● 集団的交渉法制 ● 最低賃金法制 ● 労働者法制の位置づけ
			Division III a 7 Empirical and Economic Foundation of Labour Law Register of Collective Agreements Administrative Office of the Care Commission (第Ⅲa 7 課 ● 労働法の経験的及び経済的基礎 ● 労働協約の登録 ● 委員会の運営事務局)
		Directorate III b Occupational Safety and Health (第Ⅲb 局	

		労働安全衛生)	
			Division III b 1 Occupational Safety and Health Legislation Occupational Medicine Prevention under Social Code VII (第 III b 1 課 ● 労働安全衛生 ● 健康法制 ● 産業医学 ● 社会法典第Ⅶ巻の下での予防措置)
			Division III b 2 Basic Issues of Occupational Safety and Health Technical Supervision of the BAuA (第Ⅲb2 課 ● 労働安全衛生の基本問題 ● 連邦労働安全衛生研究所の技術的監督)
			Division III b 3 Chemicals Safety, Biological Safety, Physical Agents

			(第Ⅲb3 課 ● 化学安全 ● 生物安全 ● 物理的因子
			Division III b 4 Health Impact of the Transformation of Work, Workplaces Digital Transformation (第Ⅲb4 課 ● 仕事、作業場の移動の健康影 響 ● デジタル変革
			Division III b 5 Product Safety Safety of Installations and Operational Safety (第Ⅲb5 課 ● 製品安全 ● 設備及び操作の安全
			Division V b 6– Compensation Benefits,– Participation and Medical– Treatment in– Social Compensation– Support for Implementing–

			Book XIV of the Social Code —(第V部 b 6— 補償給付— 社会補償への参加及び治療— 社会補償— 実施支援— 社 会 法 典 第 14 卷) —————)
			Referat V b 7— Basic Policies and Benefit— Legislation— relating to Social Compensation— and Social Code XIV,— International Social— Compensation Issues,— German Assisting Authority— Foundation “Anerkennung und— Hilfe Administrative Office— Foundation— “Anerkennung und Hilfe” —(参考文献 V b 7— 社会補償に関する基本方針及び給 付給付法制 補償 及び社会法典 XIV、—

			国際社会補償問題、— ドイツの支援機関社会補償基金)—
--	--	--	------------------------------------

(3) ドイツ連邦政府労働社会問題省が、Technischer Arbeitsschutz : (Technical occupational safety and health : 技術的な労働安全衛生) としてそのウェブサイト : <https://www.bmas.de/DE/Arbeit/Arbeitsschutz/Technischer-Arbeitsschutz/technischer-arbeitsschutz.html> (2024 年 10 月 21 日に再確認済み) で公開している資料の「ドイツ語原典—英語仮訳—日本語仮訳」としての紹介について

(資料作成者注 : 本稿では、上記について、2024 年 2 月 26 日の時点で、ドイツ連邦政府労働社会問題省のドイツ語版のウェブサイトに掲載されている、技術的な労働安全衛生に関する 9 つの分野についての解説記事の全文を「ドイツ語原典—英語仮訳—日本語仮訳」の形式で紹介するものです。この場合、ドイツ語原典の日本語への仮訳をできる限り適切なものとするため、以下には「ドイツ語原典—その英語仮訳—これらに基づく日本語仮訳」としています。つまり、

ドイツ語原文	左欄の英語仮訳
	左欄及び上覧の英語仮訳を踏まえた日本語仮訳

として紹介しています。

なお、これらの原典のドイツ語原文については、2024 年 10 月 17 日に変更がないことを確認しました。)

[原典の所在] : <https://www.bmas.de/DE/Arbeit/Arbeitsschutz/Technischer-Arbeitsschutz/technischer-arbeitsschutz.html>

[原典の名称] : Technischer Arbeitsschutz : (Technical occupational safety and health : 技術的な労働安全衛生)

[著作権について] : ドイツ連邦政府労働社会問題省のウェブサイトには著作権の保持に関する記述が見当たらないので、本稿ではその出典を明らかにしつつ、この紹介を行うものです。

<i>Der technische Arbeitsschutz umfasst alle Bereiche, die die Sicherheit der Beschäftigten bei der Arbeit berühren.</i>	Technical occupational safety and health covers all areas that affect the safety of employees at work.
	技術的な労働安全衛生は、職場の被雇用者の安全に影響を与えるすべての領域を対象としています。

Gefahrstoffe Ein Ziel des Arbeitsschutzes ist es, Tätigkeiten mit gefährlichen Stoffen, Stoffgemischen und bestimmten Erzeugnissen (Gefahrstoffen) sicher zu gestalten und mögliche Gefährdungen zu minimieren. Die rechtlichen Rahmenbedingungen hierfür sind in der Gefahrstoffverordnung festgelegt.	Hazardous substances One aim of occupational health and safety is to ensure that activities involving hazardous substances, mixtures of substances and certain products (hazardous substances) are carried out safely and to minimise possible hazards. The legal framework for this is laid down in the Hazardous Substances Ordinance.
	有害物質 労働安全衛生の目的の一つは、危険な物質、物質の混合物及び特定の製品（危険物質）に関わる活動を安全に実施し、起こり得る危険を最小限に抑えることです。そのための法的枠組みは「有害物質規則」に定められています。
Sicherheit in Arbeitsstätten Die Sicherheit und der Gesundheitsschutz der Beschäftigten in Arbeitsstätten wird in der Verordnung über Arbeitsstätten geregelt.	Safety in workplaces The safety and health protection of employees in workplaces is regulated in the Ordinance on Workplaces.
	職場の安全 職場における被雇用者の安全及び健康の保護は、「職場に関する規則」で規定されています。
Betriebs- und Anlagensicherheit Die Betriebssicherheitsverordnung enthält Anforderungen für die sichere Verwendung von Arbeitsmitteln und überwachungsbedürftiger Anlagen.	Operational and plant safety The Ordinance on Industrial Safety and Health contains requirements for the safe use of work equipment and systems requiring monitoring.
	作業及び工場の安全

	労働安全衛生規則には、監視を必要とする作業機器及びシステムの安全使用に関する要件が含まれている。
--	--

Lärm- und Vibrationsschutz Die Lärm- und Vibrations-Arbeitsschutzverordnung ist am 9. März 2007 in Kraft getreten. Die Bundesregierung setzt damit die EG-Arbeitsschutzrichtlinien über Lärm und Vibrationen und das Übereinkommen des Internationalen Arbeitsamtes zu Lärm und Vibrationen in nationales Recht um.	Noise and vibration protection The Noise and Vibration Occupational Health and Safety Ordinance came into force on 9 March 2007. The Federal Government is thus transposing the EC occupational health and safety directives on noise and vibration and the International Labour Office Convention on Noise and Vibration into national law.
	騒音及び振動対策 騒音及び振動労働安全衛生規則は 2007 年 3 月 9 日に施行された。これにより連邦政府は、騒音及び振動に関する EC 労働安全衛生指令並びに騒音及び振動に関する国際労働機関条約を国内法に移管することになる。

Arbeitsschutzorganisation Der Arbeitgeber ist verantwortlich für eine funktionierende Arbeitsschutzorganisation im Betrieb. Der Arbeitgeber ist verantwortlich für eine funktionierende Arbeitsschutzorganisation im Betrieb. Dies kann besonders wirksam durch eine nachhaltige Einbindung des Arbeits- und Gesundheitsschutzes in die Strukturen und Abläufe eines Unternehmens erreicht werden. Eine zentrale Rolle spielt die Gefährdungsbeurteilung. Soweit erforderlich, hat der Arbeitgeber Betriebsärzte und Fachkräfte für Arbeitssicherheit zu bestellen..	Occupational health and safety organisation The employer is responsible for a functioning health and safety organisation in the company. The employer is responsible for a functioning health and safety organisation in the company. This can be achieved particularly effectively through the sustainable integration of occupational health and safety into the structures and processes of a company. Risk assessment plays a central role. Where necessary, the employer must appoint company doctors and occupational safety specialists.
---	--

	労働安全衛生組織 使用者は社内の安全衛生組織が機能していることに責任を持つ。 使用者は、企業内の安全衛生組織が機能するよう責任を負う。これは、労働安全衛生を企業の構造やプロセスに持続的に組み込むことによって、特に効果的に達成することができる。リスクアセスメントが中心的な役割を果たす。必要な場合、使用者は産業医企業医師及び労働安全専門家を任命しなければならない。
--	--

Unter biologischen Arbeitsstoffen (Biostoffen) werden alle Mikroorganismen - einschließlich gentechnisch veränderter - verstanden, die beim Menschen Infektionen hervorrufen können oder sensibilisierende oder toxische Eigenschaften besitzen	Biological agents (biosubstances) are all microorganisms - including genetically modified ones - that can cause infections in humans or have sensitising or toxic properties.
	生物学的製剤（生物化学物質）とは、ヒトに感染症を引き起こしたり、感作性や毒性を持つすべての微生物（遺伝子組み換えのものも含む）を指す。

Arbeitsschutz auf Baustellen Die Bauwirtschaft ist einer der bedeutendsten Wirtschaftszweige in Deutschland. Zur Bekämpfung der überdurchschnittlich Zahl von Arbeitsunfällen und Berufserkrankungen in der Bauwirtschaft wurden spezielle gesetzliche Regelungen erlassen.	Occupational health and safety on construction sites The construction industry is one of the most important economic sectors in Germany. To combat the above-average number of accidents at work and occupational illnesses in the construction industry, special legal regulations have been enacted.
	建設現場における労働安全衛生 建設業はドイツで最も重要な経済部門のひとつである。建設業における労働災害や職業性疾病の発生件数が平均を上回っているため、これに対処するために特別な法的規制が制定されている。

Betriebs- und Anlagensicherheit Die Betriebssicherheitsverordnung enthält Anforderungen für die sichere Verwendung von Arbeitsmitteln und überwachungsbedürftiger Anlagen.	Operational and plant safety The Ordinance on Industrial Safety and Health contains requirements for the safe use of work equipment and systems requiring monitoring.
	作業及び工場の安全 労働安全衛生規則には、監視を必要とする作業機器及びシステムの安全使用に関する要件が含まれている。

Künstliche optische Strahlung am Arbeitsplatz Die Verordnung zum Schutz der Beschäftigten vor Gefährdungen durch künstliche optische Strahlung (OStrV) ist am 27. Juli 2010 in Kraft getreten.	Artificial optical radiation in the workplace The Ordinance on the Protection of Employees from the Dangers of Artificial Optical Radiation (OStrV) came into force on 27 July 2010.
	職場における人工光放射線 人工光放射線の危険からの被雇用者の保護に関する規則（OStrV）が 2010 年 7 月 27 日に施行された。

Elektromagnetische Felder Mit der Verordnung zum Schutz der Beschäftigten vor Gefährdungen durch elektromagnetische Felder kommt Deutschland seiner europäischen Verpflichtung nach, die europäische Arbeitsschutz-Richtlinie 2013/35/EU zu elektromagnetischen Feldern national umzusetzen.	Electromagnetic fields With the Ordinance on the Protection of Employees from the Dangers of Electromagnetic Fields, Germany is fulfilling its European obligation to implement the European Occupational Health and Safety Directive 2013/35/EU on electromagnetic fields at national level.
	電磁界 電磁界の危険からの被雇用者の保護に関する規則により、ドイツは電磁界に関する欧州労働安全衛生指令 2013/35/EU を国家レベルで実施する義務を果たしている。

（資料作成者注：次の記述は、2023 年 7 月 31 日並びに 2024 年 2 月 26 日及び 10 月 21 日に閲覧したところでは原典から削除されていますが、その内容は依然参考になるものであると判断して、削除せずにそのまま踏襲することとしました。）

Die Arbeitsstättenverordnung setzt die EU-Richtlinien über	The Workplace Ordinance implements the EU Directives on
der EU-Richtlinie 89/654/EWG des Rates vom 30. November 1989 über Mindestvorschriften für Sicherheit und Gesundheitsschutz in	the EU Council Directive 89/654/EEC of 30 November 1989 concerning the minimum safety and health requirements for the workplace (First

Arbeitsstätten (Erste Einzelrichtlinie im Sinne des Artikels 16 Absatz 1 der Richtlinie 89/391/EWG) (ABl. EG Nr. L 393 S. 1) und ● der EU-Richtlinie 90/270/EWG des Rates vom 29. Mai 1990 über die Mindestvorschriften bezüglich der Sicherheit und des Gesundheitsschutzes bei der Arbeit an Bildschirmgeräten (Fünfte Einzelrichtlinie im Sinne des Artikels 16 Absatz 1 der Richtlinie 89/391/EWG) (ABl. EG Nr. L 156 S. 14) und ● der EU-Richtlinie 92/58/EWG des Rates vom 24. Juni 1992 über Mindestvorschriften für die Sicherheits- und/oder Gesundheitsschutzkennzeichnung am Arbeitsplatz (Neunte Einzelrichtlinie im Sinne des Artikels 16 Absatz 1 der Richtlinie 89/391/EWG) (ABl. EG Nr. L 245 S. 23) und ● des Anhangs IV (Mindestvorschriften für Sicherheit und Gesundheitsschutz auf Baustellen) der EU-Richtlinie 92/57/EWG des Rates vom 24. Juni 1992 über die auf zeitlich begrenzte oder ortsveränderliche Baustellen anzuwendenden Mindestvorschriften für die Sicherheit und den Gesundheitsschutz (Achte Einzelrichtlinie im Sinne des Artikels 16 Absatz 1 der Richtlinie 89/391/EWG) (ABl. EG Nr. L 245 S. 6)	individual Directive within the meaning of Article 16 (1) of Directive 89/391/EEC) (OJ EC No. L 393 p. 1) and ● the EU Council Directive 90/270/EEC of 29 May 1990 on the minimum safety and health requirements for work with display screen equipment (Fifth individual Directive within the meaning of Article 16 (1) of Directive 89/391/EEC) (OJ EC No. L 156 p. 14) and ● Council Directive 92/58/EEC of 24 June 1992 on the minimum requirements for the provision of safety and/or health signs at work (Ninth individual Directive within the meaning of Article 16 (1) of Directive 89/391/EEC) (OJ EC No. L 245 p. 23) and ● Annex IV (Minimum safety and health requirements for construction sites) of the EU Council Directive 92/57/EEC of 24 June 1992 on the minimum safety and health requirements at temporary or mobile construction sites (Eighth individual Directive within the meaning of Article 16 (1) of Directive 89/391/EEC) (OJ EC No. L 245 p. 6).
	作業場規則は、以下の EU 指令を実施するものです。 ● 職場の最低安全衛生要件に関する 1989 年 11 月 30 日の EU 理事会指令 89/654/EEC (指令 89/391/EEC の第 16 条 (1) の意味における最初の個別指令) (OJ EC No.L 393 p. 1) 及び ● ディスプレイ・スクリーン機器を使用する作業に対する安全及び健康の最低要件に関する 1990 年 5 月 29 日の EU 理事会指令 90/270/EEC (指令

	89/391/EEC の第 16 条 (1) の意味における第 5 の個別指令) (OJ EC No.L 156 p. 14) 及び ● 労働における安全及び／又は健康に関する標識の提供に関する最低要件に関する 1992 年 6 月 24 日の理事会指令 92/58/EEC (指令 89/391/EEC の第 16 条 (1) にいう第 9 個別指令) (OJ EC No.L 245 p.23) 及び ● 仮設又は移動式建設現場における最低安全衛生要件に関する 1992 年 6 月 24 日の EU 理事会指令 92/57/EEC の附属書 IV (建設現場における最低安全衛生要件) (指令 89/391/EEC の 16 条 (1) 項にいう第 8 個別指令) (OJ EC No. L 245 p. 6).
--	---

in deutsches Arbeitsschutzrecht um. Die Arbeitsstättenverordnung richtet sich an die Arbeitgeber und enthält Festlegungen für das Einrichten und Betreiben von Arbeitsstätten. Arbeitsstätten im Sinne der Verordnung sind Orte in Gebäuden oder im Freien, die sich auf dem Gelände eines Betriebes oder einer Baustelle befinden und zur Nutzung für Arbeitsplätze vorgesehen sind bzw. zu denen die Beschäftigten im Rahmen ihrer Arbeit Zugang haben. Zur Arbeitsstätte gehören z B. die Verkehrs- und Fluchtwege, Lager- und Nebenräume, aber auch die Sanitär-, Pausen-/Bereitschaftsräume und Erste-Hilfe-Räume sowie Unterkünfte. Ausgenommen von der Verordnung sind Arbeitsstätten, die dem Bundesberggesetz unterliegen sowie bestimmte Bereiche, wie das Reisegewerbe und der Marktverkehr, Transportmittel im öffentlichen Verkehr sowie Flächen außerhalb bebauter Bereiche von land-	into German occupational health and safety law. The Workplace Ordinance is directed at employers and contains specifications for setting up and operating workplaces. Workplaces within the meaning of the Ordinance are places in buildings or outdoors, which are located on the premises of a company or a construction site and are intended for use for workplaces or to which employees have access in the course of their work. The workplace includes, for example, the traffic and escape routes, storage and ancillary rooms, but also the sanitary facilities, break/stand-by rooms and first aid rooms as well as accommodation. Workplaces subject to the Federal Mining Act as well as certain areas such as itinerant trade and market traffic, means of transport in public traffic as well as areas outside built-up areas of agricultural or forestry enterprises are exempt from the
--	--

oder forstwirtschaftlichen Betrieben. Die Verordnung regelt auch die Arbeit an Bildschirmgeräten mit allgemeinen Anforderungen zur Bildschirmarbeit. Die Regelungen umfassen einerseits die technischen Mindestanforderungen an Bildschirmgeräte, den Bildschirmarbeitsplatz und die Arbeitsumgebung, andererseits aber auch die Softwaregestaltung und die Arbeitsorganisation, um auch psychomentele und kognitive Belastungen zu erfassen. Arbeitgeber ist verpflichtet, die Bildschirmarbeit so zu organisieren, dass einseitige oder monotone Belastungen vermieden oder durch regelmäßige Erholungspausen unterbrochen werden. Statistiken belegen einen hohen Anteil an Unfällen, die bei der Nutzung von Arbeitsstätten auftreten. So werden Fußböden, Verkehrswege und Treppen als Unfallschwerpunkte an erster Stelle genannt. Zur Vermeidung von Unfällen gibt die Verordnung geeignete Maßnahmen bzw. Schutzziele für das Einrichten und Betreiben von Arbeitsstätten vor.	ordinance. The ordinance also regulates work at visual display terminals with general requirements for VDU work. On the one hand, the regulations cover the minimum technical requirements for display screen equipment, the display screen workplace and the working environment, and on the other hand, they also cover software design and work organisation in order to also cover psychomental and cognitive stress. Employers are obliged to organise VDU work in such a way that one-sided or monotonous stress is avoided or interrupted by regular rest breaks. Statistics show a high proportion of accidents occurring during the use of workplaces. Floors, traffic routes and stairs, for example, are cited first as accident black spots. In order to prevent accidents, the ordinance specifies suitable measures and protection goals for the installation and operation of workplaces. 次の規定をドイツの労働安全衛生法に組み込みました。 職場規則は使用者に向けられたもので、職場の設置及び運営に関する仕様が記載されています。この規則でいう作業場とは、企業及び建設現場の敷地内にある建物内又は屋外で、職場に使用することを目的とした場所及び被雇用者が業務上立ち入ることができる場所のことをいいます。 作業場には、例えば、交通経路及び避難経路、倉庫及び補助的な部屋だけでな
--	--

	く、衛生設備、休憩室・待機室、救護室、宿泊施設のようなものも含まれます。連邦鉱業法の適用を受ける職場、旅商売及び市場交通、公共の交通手段、農業及び林業企業の既成市街地以外の地域は、この規則の対象外です。 この規則では、表示画面機器での作業についても、表示画面作業に関する一般的な要件を定めて規制しています。一方では、ディスプレイスクリーン機器、ディスプレイスクリーン作業場、作業環境に関する最低限の技術的要件を網羅し、他方では、精神的・認知的ストレスもカバーするために、ソフトウェア設計及び作業組織をも規定しています。 使用者は、一方的若しくは単調なストレスが避けられるように、又は定期的な休憩によって中断されるように、VDU の作業を組織化する義務があります。 統計によると、職場の使用中に発生する事故の割合が高いことが分かっています。例えば、床や動線又は階段は、事故が起りやすい場所として真っ先に挙げられます。事故を防ぐために、この規則では職場の設置及び運営に適した対策及び保護目標を規定しています。
--	--

Praktische Hilfen zur Anwendung der ArbStättV Für die betriebliche Praxis werden die Vorschriften der Arbeitsstättenverordnung, für die es weiteren Erläuterungsbedarf gibt, durch Regeln für Arbeitsstätten (Arbeitsstättenregeln - ASR) auf untergesetzlicher Ebene konkretisiert. Die Arbeitsstättenregeln werden auf der Internetseite der Bundesanstalt für Arbeitsschutz und Arbeitsmedizin veröffentlicht.	Practical aids for the application of the ArbStättV For operational practice, the provisions of the Workplaces Ordinance, for which there is a need for further explanation, are concretised by rules for workplaces (Arbeitsstättenregeln - ASR) at sub-legal level. The workplace rules are published on the website of the Federal Institute for Occupational Safety and Health. 作業場規則（ArbStättV）の適用のための実用的な援助 実務上、さらなる説明が必要な作業場規則の規定は、法律以下のレベルで作業場のルール（Arbeitsstättenregeln - ASR）によって具体化されています。作業場のルールは、連邦労働安全衛生研究所のホームページで公開されています。
--	---

（次の記述の内容については、変更がないことを2023年7月31日に確認しました。また、2024年2月26日及び10月21日に改めて確認したところ、これらの記述に相当する記述は、ドイツ労働社会問題省のウェブサイトでは見当たりませんでしたが、これらの内容には変化がありそうもないものであると判断して、以下の記述を従来どおり掲載しておくこととしました。）

Lärm- und Vibrationsschutz Die Lärm- und Vibrations-Arbeitsschutzverordnung ist am 9. März 2007 in Kraft getreten. Die Lärm- und Vibrations-Arbeitsschutzverordnung wurde am 8. März 2007 im Bundesgesetzblatt veröffentlicht und ist am 9. März 2007 in Kraft getreten. Die Bundesregierung setzt damit die EG-Arbeitsschutzrichtlinien über Lärm und Vibrationen und das Übereinkommen des Internationalen Arbeitsamtes zu Lärm und Vibrationen (ILO-Übereinkommen Nr. 148) in nationales Recht um. Die Verordnung richtet sich an alle Arbeitgeber, deren	Noise and vibration protection The Noise and Vibration Occupational Health and Safety Ordinance came into force on 9 March 2007. The Noise and Vibration Occupational Health and Safety Ordinance was published in the Federal Law Gazette on 8 March 2007 and entered into force on 9 March 2007. With it, the Federal Government transposes the EC Occupational Health and Safety Directives on Noise and Vibration and the International Labour Office Convention on Noise and Vibration (ILO Convention No. 148) into national law. The ordinance is aimed at all
--	---

Beschäftigte Lärm oder Vibrationen ausgesetzt sind. Ziel ist es, die Beschäftigten vor Gesundheitsschäden zu schützen. Die Grenzwerte für Lärm und Vibration am Arbeitsplatz wurden bei der Umsetzung der EG-Lärmrichtlinie auf den Stand der wissenschaftlichen und arbeitsmedizinischen Erkenntnisse festgelegt und verbindlich gemacht. Im Einzelnen wurden für die Lärmbelastung der Expositionsgrenzwerte von 87 dB(A) auf 85 dB(A) und für die Spitzenbelastung von 140 dB(C) auf 137 dB(C) abgesenkt. Bei Belastungen durch Vibrationen, wie sie z.B. bei Baumaschinen auftreten, wurden der Beschleunigungswert in Längsrichtung der Wirbelsäule von 1,15 m/s² auf 0,8 m/s² gesenkt. Dies bedeutet einen großen Fortschritt für die Gesundheit und Sicherheit der Beschäftigten. Mit der neuen Verordnung wird in den Betrieben mehr Sicherheit und Gesundheitsschutz für Beschäftigte gewährleistet. Insbesondere wird damit der sich weiter ausbreitenden Lärmschwerhörigkeit begegnet, die seit langem an der Spitze der Berufskrankheiten steht und die Kassen der gesetzlichen Unfallversicherung erheblich belastet. Allein im Jahr 2005 wurden den Unfallversicherungsträgern 10.000 neue Verdachtsfälle von beruflich bedingter Lärmschwerhörigkeit gemeldet. Davon wurden 6.000 Fälle als Berufskrankheit neu anerkannt. Die jährlichen Rentenzahlungen der gewerblichen Berufsgenossenschaften beziffern sich auf weit über 150 Mio. Euro im Jahr. Des Weiteren soll mit der neuen Verordnung Gesundheitsschäden durch	employers whose employees are exposed to noise or vibrations. The aim is to protect workers from damage to their health. The limit values for noise and vibration at the workplace were set at the state of scientific and occupational medical knowledge when the EC Noise Directive was implemented and made binding. Specifically, for noise exposure the exposure limit values were lowered from 87 dB(A) to 85 dB(A) and for peak exposure from 140 dB(C) to 137 dB(C). For exposure to vibrations, such as those occurring in construction machinery, the acceleration value in the longitudinal direction of the spine was reduced from 1.15 m/s² to 0.8 m/s². This represents a major advance for the health and safety of workers. The new regulation will ensure more safety and health protection for employees in companies. In particular, it addresses the growing problem of noise-induced hearing loss, which has long been at the top of the list of occupational diseases and places a considerable burden on the statutory accident insurance funds. In 2005 alone, 10,000 new suspected cases of occupational noise-induced hearing loss were reported to the accident insurance institutions. Of these, 6,000 cases were newly recognised as occupational diseases. The annual pension payments of the industrial accident insurance institutions amount to well over 150 million euros per year. Furthermore, the new regulation is intended to counteract damage to health caused by hand-arm or whole-body vibrations.
--	---

Hand-Arm- oder Ganzkörpervibrationen entgegengewirkt werden. Betroffen sind hier häufig die Bereiche der Land- und Forstwirtschaft und der Bauindustrie (z.B. Land- und Forstmaschinen, Pressluftschlämmer etc.). Vibrationen können bei länger andauernder Exposition schwere Muskel- und Skelett-Erkrankungen hervorrufen sowie neurologische Störungen und Gefäßerkrankungen auslösen. Fazit: Lärmschwerhörigkeit wie auch Muskel- und Skelettkrankheiten sind für die betroffenen Menschen mit einem erheblichen Verlust an Lebensqualität verbunden. Die Sozialsysteme werden durch die Vielzahl der Erkrankungen erheblich belastet. Die Bundesregierung will dieser Entwicklung gezielt entgegenwirken und den Gesundheitsschutz der Beschäftigten verbessern. Die neue Lärm- und Vibrations-Arbeitsschutzverordnung leistet dazu einen wesentlichen Beitrag.	This often affects the agricultural and forestry sectors and the construction industry (e.g. agricultural and forestry machinery, jackhammers, etc.). Vibration can cause severe musculoskeletal disorders and neurological and vascular disorders if exposure is prolonged. Conclusion: Noise-induced hearing loss as well as musculoskeletal disorders are associated with a considerable loss of quality of life for the people affected. The social systems are considerably burdened by the multitude of illnesses. The federal government wants to counteract this development in a targeted manner and improve health protection for employees. The new Noise and Vibration Occupational Health and Safety Ordinance makes a significant contribution to this.
	騒音及び振動対策 2007 年 3 月 9 日に、「騒音及び振動労働安全衛生規則」が施行されました。 騒音及び振動労働安全衛生規則は、2007 年 3 月 8 日に連邦法公報に掲載され、2007 年 3 月 9 日に施行されました。これにより、連邦政府は、騒音及び振動に関する EC 労働安全衛生指令並びに騒音及び振動に関する国際労働機関条約（ILO 条約第 148 号）を国内法に移管していることとなります。この規則は、被雇用者が騒音や振動にさらされるすべての使用者を対象としています。その目的は、労働者を健康被害から保護することです。 職場における騒音及び振動の規制値は、EC 騒音指令が施行され拘束力を持つ

ようになった当時の科学的及び産業医学的知見に基づき設定されています。

具体的には、騒音についてはばく露限界値が 87 dB(A)から 85 dB(A)に、ピークばく露については 140 dB(C)から 137 dB(C)に引き下げられています。

建設機械のような振動については、背骨の長さ方向の加速度が 1.15m/s² から 0.8m/s² に引き下げられました。

これは、労働者の健康及び安全にとって大きな進歩です。

この新しい規則は、企業で働く被雇用者の安全及び健康の保護をより確実にするものです。

特に、職業性疾病の上位を占め、法定傷害保険金に大きな負担を与えている騒音性難聴の増大する問題に対処するものです。

2005 年だけでも、新たに 1 万件の職業性騒音性難聴の疑い例が傷害保険機関に報告されました。このうち、6,000 件が新たに職業性疾病と認定されました。労災保険機関の年間年金支払額は、年間 1 億 5 千万ユーロを優に超えています。

さらに、手腕又は全身の振動による健康被害への対策も目的としています。

これは、農林業及び建設業（農業機械、林業機械、ジャッキハンマー等）に影響を与えることが多いものです。

振動は、長時間さらされると、重度の筋骨格系障害並びに神経及び血管系障害を引き起こす可能性があります。

結論

騒音による難聴及び筋骨格系障害は、影響を受ける人々の生活の質を著しく低下させます。

また、多くの疾病が発生するため、社会制度にも大きな負担がかかります。

連邦政府は、このような事態に対処し、被雇用者の健康保護を改善することを

	望んでいます。 新しい騒音及び振動労働安全衛生規則は、これに大きく貢献するものです。
--	--

Arbeitsschutzorganisation Der Arbeitgeber ist verantwortlich für eine funktionierende Arbeitsschutzorganisation im Betrieb. Der Arbeitgeber ist verantwortlich für eine funktionierende Arbeitsschutzorganisation im Betrieb. Dies kann besonders wirksam durch eine nachhaltige Einbindung des Arbeits- und Gesundheits-schutzes in die Strukturen und Abläufe eines Unternehmens erreicht werden. Eine zentrale Rolle spielt die Gefährdungsbeurteilung. Soweit erforderlich, hat der Arbeitgeber Betriebsärzte und Fachkräfte für Arbeitssicherheit zu bestellen. Zentrale Säule des Arbeitsschutzes im Betrieb ist die Pflicht des Arbeitgebers zur Durchführung einer Gefährdungsbeurteilung. Die Gefährdungsbeurteilung dient dazu, sich über die vorhandenen Gefährdungen bei der Arbeit klar zu werden, damit die "richtigen" Schutzmaßnahmen getroffen werden können. Zweckmäßigerweise orientiert sich das Vorgehen des Arbeitgebers an der im Einzelfall vorliegenden Betriebsart und der Betriebsgröße mit den jeweils auftretenden Gefährdungsfaktoren (z.B. arbeitsstätten-bezogene,	Occupational safety and health organisation The employer is responsible for a functioning occupational safety and health organisation in the enterprise. The employer is responsible for a functioning occupational health and safety organisation in the company. This can be achieved particularly effectively by sustainably integrating occupational health and safety into the structures and processes of a company. Risk assessment plays a central role. Insofar as necessary, the employer must appoint company doctors and occupational safety specialists. The central pillar of occupational safety and health in the company is the employer's duty to carry out a risk assessment. The risk assessment serves to become clear about the existing hazards at work so that the "right" protective measures can be taken. It is advisable for the employer's procedure to be based on the type of business and the size of the business in each individual case, with the risk factors that arise in each case (e.g. workplace-related, work equipment-
--	---

arbeitsmittel- und tätigkeitsbezogene Risiken). Nach der Ermittlung dieser Faktoren besteht der Kern der Gefährdungsbeurteilung darin, sie auf die Notwendigkeit von möglichen Schutzmaßnahmen hin zu bewerten. Um den Arbeitgeber in seiner Aufgabenwahrnehmung zu unterstützen gibt es ein vielfältiges und differenziertes Sortiment praxisbezogener Handlungsanleitungen. Anbieter sind beispielsweise die Bundesanstalt für Arbeitsschutz und Arbeitsmedizin (BAuA), die Arbeitsschutzbehörden der Länder und die Träger der gesetzlichen Unfallversicherung, aber auch zahlreiche gewerbliche Anbieter (Suchbegriff: "Gefährdungsbeurteilung"). Am wirkungsvollsten kann die Sicherheit und Gesundheit der Beschäftigten bei der Arbeit gewährleistet werden, wenn der Arbeits- und Gesundheitsschutz nachhaltig in die Strukturen und Abläufe eines Unternehmens eingebunden wird. Arbeitsschutzmanagementsysteme (AMS) sind ein wirksames Instrument zur Verbesserung des Arbeitsschutzes. Ausführliche Informationen dazu finden Sie auf der Website der Europäischen Agentur für Sicherheit und Gesundheitsschutz bei der Arbeit. Nach dem Gesetz über Betriebsärzte, Sicherheitsingenieure und andere Fachkräfte für Arbeitssicherheit (Arbeitssicherheitsgesetz - ASiG) ist der Arbeitgeber verpflichtet, nach bestimmten Maßgaben Betriebsärzte und	related and activity-related risks). Once these factors have been identified, the core of the risk assessment consists of evaluating them in terms of the need for possible protective measures. In order to support employers in the performance of their tasks, there is a diverse and differentiated range of practical guidance. Providers include, for example, the Federal Institute for Occupational Safety and Health (Bundesanstalt für Arbeitsschutz und Arbeitsmedizin, BAuA), the occupational safety authorities of the Länder and the statutory accident insurance institutions, as well as numerous commercial providers (search term: "Gefährdungsbeurteilung": <i>Risk assessment</i>.) The most effective way to ensure the safety and health of employees at work is to sustainably integrate occupational health and safety into the structures and processes of a company. Occupational safety and health management systems (OSHMS) are an effective tool for improving occupational safety and health. Detailed information can be found on the website of the European Agency for Safety and Health at Work. According to the Act on Company Doctors, Safety Engineers and Other Specialists for Occupational Safety (Arbeitssicherheitsgesetz - ASiG), the employer is obliged to appoint company doctors and specialists for
---	---

Fachkräfte für Arbeitssicherheit zu bestellen. Diese haben die Aufgabe, ihn in seinem Betrieb beim Arbeitsschutz und bei der Unfallverhütung in allen Fragen des Gesundheitsschutzes und der Arbeitssicherheit zu unterstützen. Bei der Anwendung ihrer Fachkunde sind Betriebsärzte und Fachkräfte für Arbeitssicherheit weisungsfrei und dürfen wegen der Erfüllung ihrer Aufgaben nicht benachteiligt werden. In Betrieben mit mehr als 20 Beschäftigten hat der Arbeitgeber einen Arbeitsschutzausschuss zu bilden.	occupational safety according to certain specifications. Their task is to support the employer in occupational health and safety and accident prevention in all questions of health protection and occupational safety. In the application of their expertise, company physicians and occupational safety specialists are not subject to instructions and may not be disadvantaged because of the performance of their duties. In companies with more than 20 employees, the employer shall form an occupational health and safety committee.
Das Arbeitssicherheitsgesetz wird durch Unfallverhütungsvorschriften der Träger der gesetzlichen Unfallversicherung konkretisiert; siehe Unfallverhütungsvorschrift „Betriebsärzte und Fachkräfte für Arbeitssicherheit (DGUV Vorschrift 2) und Unfallverhütungsvorschrift "Sicherheitstechnische und arbeitsmedizinische Betreuung" (VSG 1.2). Je nach Betriebsgröße hat der Arbeitgeber die Wahl zwischen verschiedenen Betreuungsmodellen.	The Occupational Safety Act is concretized by accident prevention regulations of the statutory accident insurance institutions; see accident prevention regulation "Company doctors and occupational safety specialists (DGUV regulation 2) and accident prevention regulation "Safety and occupational medical care" (VSG 1.2). Depending on the size of the company, the employer can choose between different supervision models.
Wie im ASiG vorgesehen, haben die Länder für die öffentliche Verwaltung gleichwertige Vorschriften erlassen; bezeichnet als "Richtlinie zur Durchführung des Gesetzes über Betriebsärzte, Sicherheitsingenieure und andere Fachkräfte für Arbeitssicherheit in den Behörden der Landesverwaltung" oder als "Richtlinie für den betriebsärztlichen und sicherheitstechnischen Dienst in den Verwaltungen und Betrieben des Landes". Für die Bundesbeschäftigten gilt die "Allgemeine Verwaltungsvorschrift für die betriebsärztliche und sicherheitstechnische Betreuung in den Behörden und Betrieben des Bundes" des	As provided for in the ASiG, the Länder have issued equivalent regulations for the public administration; referred to as the "Guideline for the Implementation of the Act on Company Doctors, Safety Engineers and Other Specialists for Occupational Safety in the Authorities of the Land Administration" or the "Guideline for the Company Medical and Safety Technical Service in the Administrations and Companies of the Land". For federal employees, the "General Administrative Regulation for Occupational Medical and Safety Services in Federal Authorities and Establishments" of the Federal Ministry of the Interior (BsiB-AVwV) applies.

Bundesministerium des Innern (BsiB-AVwV).	
	労働安全衛生組織 使用者は、企業における労働安全衛生組織が機能していることに責任があります。 使用者は、企業内の労働安全衛生組織が機能することに責任を負っています。これは、労働安全衛生を企業の構造及び進行過程に持続的に組み込むことによって、特に効果的に達成することができます。 リスクアセスメントが中心的な役割を果たします。 必要な限りにおいて、使用者は企業内医師（産業医）及び労働安全専門家を任命しなければなりません。 企業における労働安全衛生の中心的な柱は、リスクアセスメントの実施という使用者の義務です。 リスクアセスメントは、職場に存在する危険性を明確にし、「正しい」保護措置を講じることができるようにするためのものです。 使用者の手順は、個々のケースで発生するリスク要因（職場関連、作業設備関連、活動関連のリスク等）を考慮し、事業の種類や規模に応じて行うことが望ましいものです。 これらの要因が特定されれば、リスクアセスメントの中核は、可能な保護措置の必要性の観点からそれらを評価することにあります。 使用者の業務遂行を支援するため、多様で差別化された実践的なガイダンスが存在しています。

例えば、連邦労働安全衛生研究所（BAuA）、各州の労働安全当局、法定災害保険機関のほか、多数の商業プロバイダーが提供しています（検索語：「Gefährdungsbeurteilung」：リスクアセスメント）。

職場の被雇用者の安全及び健康を確保する最も効果的な方法は、労働安全衛生を企業の構造及び進行過程に持続的に組み込むことです。

労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）は、労働安全衛生を向上させるための有効なツールです。

詳しい情報は、欧州労働安全衛生機関（European Agency for Safety and Health at Work）のホームページで見ることができます。

産業医、安全技術者及びその他の労働安全専門員に関する法律（Arbeitssicherheitsgesetz -略称：ASiG。資料作成者注：この法律については、。本稿の第IV部中のIV-1-2「産業医、安全技師及びその他労働安全専門員に関する法律」及び別記3に、ドイツ労働社会問題省が提供しているこの法律（産業医、安全技師及びその他の労働安全専門員に関する法律）の英語版の全文に基づく「英語原文—日本語仮訳」を収載してあります。）によると、使用者は一定の仕様に基つき産業医及び労働安全の専門家を任命することが義務づけられています。

彼等の任務は、健康保護及び労働安全に関するあらゆる問題において、労働安全衛生及び事故防止で使用者を支えることです。

産業医及び労働安全専門家は、その専門知識の適用において、使用者からの指示の対象となることはなく、職務遂行を理由に不利益を被ることはありません。被雇用者数 20 名以上の企業では、使用者は労働安全衛生委員会を結成するものとされています。

	労働安全法（資料作成者注：「<i>Act on the Implementation of Measures of Occupational Safety and Health to Encourage Improvements in the Safety and Health Protection of Workers at Work</i>（ドイツ語原典の標題：Gesetz über die Durchführung von Maßnahmen des Arbeitsschutzes zur Verbesserung der Sicherheit und des Gesundheitsschutzes der Beschäftigten bei der Arbeit (Arbeitsschutzgesetz: ArbSchG)（日本語仮訳：労働安全衛生対策実施法：労働保護法、略称：ArbSchG)）を意味します。以下本稿では「労働保護法」と略称します。詳しくは、本稿の「第IV部 ドイツの労働安全衛生関係法令について」中の「別記 1」を参照されたい。」）は、法定災害保険機関の事故防止規則によって具体化されます。事故防止規則「産業医及び労働安全専門家（DGUV 規則 2）」並びに事故防止規則「安全及び職業上の医療」（VSG1.2）をご覧ください。 会社の規模に応じて、使用者はさまざまな管理監督モデルを選択することができます。 ASiG に規定されているように、各州は行政向けに同等の規則を発行しています。「国土管理当局における産業医、安全技術者及びその他の労働安全の専門家に関する法律実施のためのガイドライン」又は「国土管理当局及び企業における医療及び安全技術サービスに関するガイドライン」と呼ばれるものです。連邦政府職員については、連邦内務省（BsiB-AVwV）の「連邦当局及び施設における職業上の医療及び安全サービスに関する一般行政規則」が適用されます。
--	---

Biologische Arbeitsstoffe Unter biologischen Arbeitsstoffen (Biostoffen) werden alle Mikroorganismen	Biological agents Biological agents (biosubstances) are all microorganisms - including
--	--

- einschließlich gentechnisch veränderter - verstanden, die beim Menschen Infektionen hervorrufen können oder sensibilisierende oder toxische Eigenschaften besitzen. Darüber hinaus werden mit dem Begriff auch Endoparasiten (Parasiten, die im Menschen leben) sowie die Erreger von BSE/TSE erfasst. Biologische Arbeitsstoffe sind allgegenwärtig und jeder ist ihnen täglich ausgesetzt. Allein das Anfassen einer Türklinke bringt uns in Kontakt mit unzähligen Mikroorganismen, von denen manche auch human pathogen sind. Dieses reine "Ausgesetzt sein" gegenüber biologischen Arbeitsstoffen besteht für alle Menschen. Mit der SARS-CoV-2-Pandemie ist dies vielen erstmals bewusstgeworden. Neben dem reinen „Ausgesetzt sein“ gibt es aber auch eine Vielzahl von beruflichen Tätigkeiten, bei denen biologische Arbeitsstoffe hergestellt, verwendet oder freigesetzt werden. Für Beschäftigte, die diese Tätigkeiten ausüben, besteht ein zusätzliches Risiko. Hier ist es Aufgabe des Arbeitgebers, die erforderlichen Maßnahmen zum Schutz dieser Beschäftigten zu treffen. Die Verordnung über Sicherheit und Gesundheitsschutz bei Tätigkeiten mit biologischen Arbeitsstoffen - kurz Biostoffverordnung oder BioStoffV -, fasst diese Maßnahmen zusammen. Mit der BioStoffV werden die EG-Richtlinie 2000/54/EG sowie ihre Änderungs-Richtlinien 2019/1833/EU und 2020/739/EU in nationales Recht umgesetzt wird.	genetically modified ones - that can cause infections in humans or have sensitising or toxic properties. In addition, the term also covers endoparasites (parasites that live in humans) and the agents of BSE/TSE. Biological agents are ubiquitous and everyone is exposed to them every day. Just touching a door handle brings us into contact with countless microorganisms, some of which are also human pathogens. This sheer "exposure" to biological agents exists for all humans. With the SARS-CoV-2 pandemic, many have become aware of this for the first time. In addition to pure "exposure", however, there are also a large number of occupational activities in which biological agents are produced, used or released. There is an additional risk for employees who carry out these activities. Here it is the employer's responsibility to take the necessary measures to protect these employees. The Ordinance on Safety and Health Protection during Activities Involving Biological Agents (Biostoffverordnung or BioStoffV) summarises these measures. The BioStoffV transposes the EC Directive 2000/54/EC and its amending Directives 2019/1833/EU and 2020/739/EU into national law.
---	--

Kernvorschrift der BioStoffV sind die Regelungen zur Gefährdungsbeurteilung, die die Anforderungen des § 5 Arbeitsschutzgesetz speziell für den Bereich der biologischen Einwirkungen untersetzen. Sie umfasst die Schritte Informationsbeschaffung, Beurteilung der Gefährdung und Festlegung der Schutzmaßnahmen und die Dokumentation. Regelungen zur arbeitsmedizinischen Vorsorge bei Tätigkeiten mit biologischen Arbeitsstoffen enthält die ArbMedVV.	The core provisions of the BioStoffV are the regulations on risk assessment, which implement the requirements of § 5 of the Occupational Health and Safety Act specifically for the area of biological effects. It comprises the steps of gathering information, assessing the hazard, determining protective measures and documentation. The ArbMedVV contains regulations on occupational health care for activities involving biological agents.
Ein wichtiges Instrumentarium für die Gefährdungsbeurteilung ist das Schutzstufensystem, das dem Arbeitgeber insbesondere bei gezielten Tätigkeiten die Festlegung der erforderlichen Schutzmaßnahmen sehr erleichtert, da die Schutzstufe mit der Risikogruppe des verwendeten Mikroorganismus korrespondiert. Einer Schutzstufe zuzuordnen sind Tätigkeiten in Laboratorien, in der Versuchstierhaltung, in der Biotechnologie sowie in Einrichtungen des Gesundheitsdienstes. Keiner Schutzstufe zugeordnet werden müssen beispielsweise Tätigkeiten in der Land-, Forst-, Abwasser- und Abfallwirtschaft, Reinigungsarbeiten (z.B. öffentliche Toiletten) oder die Sanierung von mit Schimmelpilzen befallenen Wänden (nicht gezielte Tätigkeiten).	An important tool for risk assessment is the protection level system, which makes it very easy for the employer to determine the necessary protective measures, especially in the case of targeted activities, since the protection level corresponds to the risk group of the microorganism used. Activities in laboratories, in laboratory animal husbandry, in biotechnology and in health service facilities must be assigned to a protection level. Activities in agriculture, forestry, sewage and waste management, cleaning work (e.g. public toilets) or the remediation of walls infested with mould (non-targeted activities), for example, do not have to be assigned to a protection level.
Bei Tätigkeiten, die keiner Schutzstufe zuzuordnen sind, bedarf der Arbeitgeber bei der Erstellung der Gefährdungsbeurteilung besonderer Unterstützung. Diese erhält er durch den Ausschuss für biologische Arbeitsstoffe (ABAS). Der ABAS hat seit in Kraft treten der Verordnung im April 1999 insbesondere für die Bereiche mit nicht gezielten Tätigkeiten kontinuierlich technische Regeln zu biologischen Arbeitsstoffen (TRBA)	In the case of activities that cannot be assigned to a protection level, the employer requires special support in preparing the risk assessment. This is provided by the Committee on Biological Agents (ABAS). Since the Ordinance came into force in April 1999, the ABAS has continuously developed technical rules on biological agents (TRBA), in particular for areas with non-targeted activities, in order to assist the

erarbeitet, um dem Arbeitgeber durch transparente, praxisnahe und Anwender freundliche Konkretisierungen der Verordnung Hilfestellung zu geben. Die TRBA geben den Stand der Technik wieder und werden regelmäßig vom ABAS auf Aktualität überprüft. Die TRBA und weitergehende Informationen zu biologischen Arbeitsstoffen finden sich auf der Homepage des BAuA. Ziel der Regelungen der BioStoffV und der TRBA ist es, durch biologische Arbeitsstoffe hervorgerufene, berufsbedingte Gesundheitsschäden zu verhindern.	employer by providing transparent, practical and user-friendly concretizations of the Ordinance. The TRBA reflect the state of the art and are regularly reviewed by the ABAS to ensure that they are up to date. The TRBA and further information on biological agents can be found on the BAuA homepage. The aim of the regulations of the BioStoffV and the TRBA is to prevent occupational health damage caused by biological agents.
	生物学的因子 生物学的因子（バイオサブスタンス）とは、遺伝子組み換えを含む、ヒトに感染症を引き起こしたり、感作性又は毒性を持つすべての微生物を指します。 さらに、エンドパラサイト（ヒトに寄生する寄生虫）及び BSE/TSE の原因物質も含まれます。 生物学的因子はどこにでもあり、誰もが毎日その危険にさらされています。ドアの取手に触れるだけで、無数の微生物と接触することになり、その中にはヒトの病原体となるものもあります。 このように、生物学的因子に「さらされる」ことは、すべての人間に存在します。SARS-CoV-2 の大流行で、多くの人がこのことを初めて認識しました。 しかし、純粋な「ばく露」だけでなく、生物学的因子が生産、使用又は放出される職業活動も数多く存在します。 これらの活動を行う被雇用者には、さらなるリスクが存在します。ここで、これらの被雇用者を保護するために必要な措置を講じることは、使用者の責任で

す。

生物的因子が関与する活動中の安全及び健康保護に関する規則（Biostoffverordnung 又は略称：BioStoffV）は、これらの措置をまとめたものです。

BioStoffV は、EC 指令 2000/54/EC 並びにその改正指令 2019/1833/EU 及び 2020/739/EU を国内法に移管しています。

BioStoffV の中心的な規定は、リスクアセスメントに関する規定であり、労働安全衛生法 § 5 の要件を生物的影響の分野に特化して実施するものです。

これは、情報収集、危険性の評価、保護措置の決定及び文書化の手順で構成されています。

ArbMedVV には、生物学的物質が関与する活動のための労働衛生管理に関する規則が含まれています。

リスク評価の重要なツールとして、保護レベル制度があります。保護レベルは使用する微生物のリスクグループに対応しているため、特に対象となる活動の場合には、使用者は必要な保護措置を非常に容易に決定することができます。実験室、実験動物飼育、バイオテクノロジー及び医療サービス施設での活動には、保護レベルを設定する必要があります。

農業、林業、下水及び廃棄物管理、清掃作業（公衆トイレ等）、カビがはびこる壁の修復（非対象活動）等の活動は、保護レベルに割り当てる必要はありません。

保護レベルの割り当てができない活動の場合には、使用者はリスクアセスメントの作成に特別な支援を必要とします。

	これは生物学的因子委員会（ABAS）が提供するものです。 1999 年 4 月にこの規則が発効して以来、ABAS は、特に非標的活動の領域について、透明で実用的かつ使いやすい規則の具体化によって使用者を支援するために、生物学的因子に関する技術規則（TRBA）を継続的に作成しています。 TRBA は最新技術を反映し、ABAS によって定期的に見直され、最新版であることが確認されています。 TRBA 及び生物学的因子に関するその他の情報は、BAuA のホームページでご覧いただけます。
--	--

Arbeitsschutz auf Baustellen Zum Schutz der Beschäftigten in der Bauwirtschaft wurden spezielle gesetzliche Regelungen erlassen. Die Bauwirtschaft ist einer der bedeutendsten Wirtschaftszweige in Deutschland. Arbeitsbedingungen auf Baustellen sind gekennzeichnet durch ständige Veränderungen der Arbeitsumgebung infolge des Baufortschritts, gleichzeitig ablaufende Arbeitsprozesse, ungünstige Witterungseinflüsse, häufig gefährliche und mit hohen körperlichen Beanspruchungen einhergehende Arbeiten sowie großen Zeit- und Termindruck. Im Jahr 2018 war das Baugewerbe in Deutschland der Wirtschaftszweig mit der höchsten Unfallquote 1). Zur Bekämpfung der überdurchschnittlich hohen Zahl von Arbeitsunfällen und Berufserkrankungen in der Bauwirtschaft und zur	Occupational safety on construction sites Special legal regulations have been enacted to protect workers in the construction industry. The construction industry is one of the most important economic sectors in Germany. Working conditions on construction sites are characterised by constant changes in the working environment as a result of the progress of construction work, simultaneous work processes, unfavourable weather conditions, work that is often dangerous and involves high physical demands, and great time and deadline pressure. In 2018, the construction industry in Germany was the sector with the highest accident rate 1). To combat the above-average number of occupational accidents and diseases in the construction industry and to implement the European Construction
---	--

nationalen Umsetzung der europäischen Baustellenrichtlinie 92/57/EWG wurden folgende gesetzliche Regelungen erlassen: Vorschriften der Arbeitsstättenverordnung im Hinblick auf Sicherheit und Gesundheitsschutz der Beschäftigten beim Einrichten und Betreiben von Arbeitsstätten (einschließlich Orte auf Baustellen) und ergänzend dazu die spezifischen Anforderungen und Maßnahmen für Baustellen in Ziffer 5.2 Anhang ArbStättV, Vorschriften der Betriebssicherheitsverordnung im Hinblick auf Sicherheit und Gesundheitsschutz der Beschäftigten bei der Verwendung von Arbeitsmitteln, auch auf Baustellen. Für Baustellen besonders relevante Vorschriften enthält Anhang 1 Nummer 2 (Verwendung von Arbeitsmitteln zum Heben von Lasten) und Nummer 3 (Verwendung von Leitern und Gerüsten). Vorschriften der Baustellenverordnung in Hinblick auf die Verbesserung der Sicherheit auf Baustellen durch bessere Koordination bei Planung und Ausführung von Bauvorhaben, u. a. durch die Bestellung eines Sicherheits- und Gesundheitsschutzkoordinators und der Erarbeitung eines Sicherheits- und Gesundheitsschutzplans. Weitere Informationen zur Baustellenverordnung sind abrufbar auf den Internetseiten der Bundesanstalt für Arbeitsschutz und Arbeitsmedizin (BAuA). Darüber hinaus gelten auch für Beschäftigte auf Baustellen die Vorschriften des Arbeitsschutzgesetzes und der darauf gestützten Verordnungen.	Site Directive 92/57/EEC at national level, the following legal regulations were enacted: Regulations of the Workplace Ordinance with regard to the safety and health protection of employees when setting up and operating workplaces (including places on construction sites) and, in addition, the specific requirements and measures for construction sites in No. 5.2 Annex ArbStättV, regulations of the Ordinance on Industrial Safety and Health with regard to the safety and health protection of employees when using work equipment, including on construction sites. Regulations of particular relevance to construction sites are contained in Annex 1, Number 2 (Use of work equipment for lifting loads) and Number 3 (Use of ladders and scaffolding). Provisions of the Construction Site Ordinance with regard to improving safety on construction sites through better coordination in the planning and execution of construction projects, including the appointment of a safety and health coordinator and the preparation of a safety and health protection plan. Further information on the Construction Site Ordinance is available on the website of the Federal Institute for Occupational Safety and Health (BAuA). In addition, the regulations of the Occupational Health and Safety Act and the ordinances based on it also apply to employees on construction sites.
---	--

建設現場における労働安全

建設業で働く労働者を保護するために、特別な法的規制が制定されています。

建設業は、ドイツで最も重要な経済部門の一つです。

建設現場の労働環境は、工事の進捗に伴う作業環境の絶え間ない変化、同時進行する作業工程、好ましくない気象条件、危険で身体的要求の高い作業が多く、時間や期限に大きなプレッシャーを受けることが特徴的です。

2018 年、ドイツの建設業は事故率が最も高い業種でした。

建設業界における平均を上回る労働災害と疾病に対処し、欧州建設現場指令 92/57/EEC を国レベルで実施するために、以下の法的規制が制定されました。

職場（建設現場内の場所を含む。）を設置及び運営する際の被雇用者の安全及び健康保護に関する職場規則、さらに、No.5.2 Annex ArbStättV の建設現場に関する特定の要件及び措置、建設現場を含む作業機使用時の被雇用者の安全及び健康保護に関する労働安全衛生規則。建設現場に特に関連する規制は、附属書 1 の第 2 号（荷を持ち上げるための作業機器の使用）及び第 3 号（はしご及び足場の使用）に記載されています。

建設プロジェクトの計画及び実行におけるより良い連携による建設現場の安全性向上に関する建設現場規則の規定（安全衛生コーディネーターの任命、安全衛生保護計画の作成等）。

建設現場規則の詳細については、連邦労働安全衛生研究所（BAuA）のホームページでご覧いただけます。

また、労働安全衛生法及びそれに基づく規則による規制は、建設現場で働く被雇用者にも適用されます。

Betriebs- und Anlagensicherheit Die Betriebssicherheitsverordnung enthält Anforderungen für die sichere Verwendung von Arbeitsmitteln und überwachungsbedürftiger Anlagen. Betriebssicherheitsverordnung (BetrSichV) Die BetrSichV enthält Anforderungen für die sichere Verwendung von Arbeitsmitteln und überwachungsbedürftiger Anlagen. Die BetrSichV dient dem Ziel, die Sicherheit und den Schutz der Gesundheit von Beschäftigten bei der Verwendung von Arbeitsmitteln zu gewährleisten. Dies soll insbesondere erreicht werden durch 1 Auswahl geeigneter Arbeitsmittel im Hinblick auf den vorgesehenen 2 Verwendungszweck, - geeignete und funktionsfähige Schutzmaßnahmen, 3 Instandhaltung und Prüfungen, 4 Unterweisung der Beschäftigten und 5 Qualifikation von Prüfern. Die BetrSichV verlangt, dass die zur Verfügung gestellten Arbeitsmittel den für sie zum Zeitpunkt ihres Inverkehrbringens geltenden Vorschriften (z.B. Maschinenverordnung) entsprechen müssen. Darüber hinaus legt sie Schutzziele fest, die der Arbeitgeber im Einzelfall auf der Grundlage einer Gefährdungsbeurteilung mit konkreten Maßnahmen erfüllen muss, damit	Operational and plant safety The Ordinance on Industrial Safety and Health (Betriebssicherheitsverordnung) contains requirements for the safe use of work equipment and installations requiring inspection. Ordinance on Industrial Safety and Health (BetrSichV) The BetrSichV contains requirements for the safe use of work equipment and systems requiring monitoring. The purpose of the BetrSichV is to ensure the safety and health protection of employees when using work equipment. This shall be achieved in particular by 1 selection of suitable work equipment with regard to the intended 2 intended use, - appropriate and functional protective measures, 3 maintenance and inspections, 4 instruction of employees, and 5 qualification of inspectors. The BetrSichV requires that the work equipment provided must comply with the regulations applicable to it at the time it is placed on the market (e.g. Machinery Ordinance). In addition, it specifies protection targets that the employer must meet in individual cases on the basis of a risk assessment with concrete measures so that the use of the work equipment is safe.
--	---

die Verwendung der Arbeitsmittel sicher ist. Bei der Gefährdungsbeurteilung muss der Arbeitgeber neben sicherheitsrelevanten auch ergonomische Aspekte sowie mögliche psychische Belastungen bei der Verwendung von Arbeitsmitteln berücksichtigen. Für die Erfüllung der Schutzziele erhält der Arbeitgeber Hilfestellung in Form von Technischen Regeln für Betriebssicherheit (TRBS), die vom Ausschuss für Betriebssicherheit (ABS) ermittelt werden. Bei Einhaltung dieser Regeln und Erkenntnisse kann der Arbeitgeber davon auszugehen, dass die in der Verordnung gestellten Anforderungen erfüllt sind. Die BetrSichV setzt die EU- Richtlinie 2009/104/EG über Mindestvorschriften für Sicherheit und Gesundheitsschutz bei Benutzung von Arbeitsmitteln durch Arbeitnehmer bei der Arbeit in deutsches Recht um und ist dazu auf das Arbeitsschutzgesetz gestützt. Darüber hinaus enthält die BetrSichV rein nationale, aber seit vielen Jahrzehnten etablierte Regelungen zum sicheren Betrieb überwachungsbedürftiger Anlagen (z.B. Dampfkessel, Druckbehälter, Tankstellen und Aufzugsanlagen). Gesetz über überwachungsbedürftige Anlagen (ÜAnlG) Das ÜAnlG regelt neben grundlegenden Betreiberpflichten, wozu auch besondere Prüfungen gehören, Anforderungen an die Durchführung der Prüfungen sowie die Zulassung von und die Aufsicht über Prüfstellen. Die Anforderungen dienen neben dem Schutz von Beschäftigten auch dem	In the risk assessment, the employer must take into account not only safety-relevant aspects but also ergonomic aspects as well as possible mental stress when using work equipment. For the fulfilment of the protection goals, the employer receives assistance in the form of Technical Rules for Industrial Safety (TRBS), which are determined by the Industrial Safety Committee (ABS). If these rules and findings are complied with, the employer can assume that the requirements set out in the ordinance are met. The BetrSichV transposes the EU Directive 2009/104/EC concerning the minimum safety and health requirements for the use of work equipment by workers at work into German law and is based on the Occupational Health and Safety Act for this purpose. In addition, the BetrSichV contains purely national, but for many decades established regulations on the safe operation of equipment requiring monitoring (e.g. steam boilers, pressure vessels, filling stations and lift systems). Act on Installations Requiring Inspection (ÜAnlG) (検査を必要とする設備に関する法律 : (ÜAnlG)) In addition to basic operator obligations, which also include special inspections, the ÜAnlG regulates requirements for the performance of inspections as well as the approval of and supervision over inspection bodies. In addition to the protection of employees, the requirements also serve to
--	---

Schutz von anderen Personen im Gefahrenbereich einer solchen Anlage. Daher müssen die Anforderungen auch von gewerblich oder wirtschaftlich tätigen Betreibern ohne Beschäftigte erfüllt werden. Die BetrSichV konkretisiert die Vorgaben des ÜAnlG.	protect other persons in the danger zone of such an installation. Therefore, the requirements must also be met by commercially or economically active operators without employees. The BetrSichV specifies the requirements of the ÜAnlG.
	作業及び工場設備の安全 労働安全衛生規則（Betriebssicherheitsverordnung）には、検査が必要な作業機器及び設備の安全使用に関する要件が含まれています。 労働安全衛生規則（BetrSichV） BetrSichV には、検査を必要とする作業機器及びシステムの安全な使用に関する要求事項が含まれています。 BetrSichV の目的は、作業用機器の使用時に被雇用者の安全及び健康保護を確保することです。 これは、特に以下の事項によって達成されるものとします。 1 目的に応じて適切な作業装置を選択すること。 2 意図的な使用、適切かつ機能的な保護措置 3 保守及び点検を行う。 4 被雇用者への指導、及び 5 検査担当者の資格 BetrSichV は、提供される作業機器が、市場に出された時点でその機器に適用される規制（例：機械規則）に適合していなければならないことを要求しています。 さらに、作業機器の使用が安全であるように、リスクアセスメントに基づき、使用者が個々のケースで満たすべき保護目標が規定されています。

	リスクアセスメントでは、使用者は安全面だけでなく、人間工学的な側面及び作業機器使用時に起こりうる精神的ストレスも考慮しなければなりません。 保護目標を達成するために、使用者は産業安全委員会（ABS）が定めた産業安全のための技術規則（TRBS）という形で支援を受けることができます。これらの規則及び所見が遵守されていれば、使用者は規則で定められた要件を満たしていると思なすことができます。 BetrSichV は、職場で働く労働者が作業機器を使用する際の安全衛生に関する最低要件に関する EU 指令 2009/104/EC をドイツの法律に移管したもので、この目的のために労働安全衛生法に基づいています。 さらに、BetrSichV には、監視が必要な機器（蒸気ボイラー、圧力容器、充填所及び荷揚げ機械（リフト）システム等）の安全運転に関する、純粋に国内向けの、しかし何十年も前から確立された規制が含まれています。 検査を必要とする設備に関する法律（ÜAnlG） 特別な検査を含む基本的な操作者の義務に加え、ÜAnlG は検査の実施に関する要件、検査機関の承認及び監督を規定しています。 この要件は、被雇用者の保護に加え、そのような設備の危険区域にいるその他の人々の保護にも役立っています。 したがって、被雇用者を持たない商業的又は経済的に活動する操作者も、この要件を満たさなければなりません。 BetrSichV は、ÜAnlG の要求事項を規定したものです。
--	--

Künstliche optische Strahlung am Arbeitsplatz	Artificial optical radiation at the workplace
---	---

Die Verordnung zum Schutz der Beschäftigten vor Gefährdungen durch künstliche optische Strahlung (OStrV) ist am 27. Juli 2010 in Kraft getreten (BGBl I Nr. 38 S. 960). Damit sind die drei EU-Arbeitsschutz-Richtlinien zu Lärm, Vibrationen und künstlicher optischer Strahlung in nationales Recht umgesetzt.	The Ordinance on the Protection of Workers from the Hazards of Artificial Optical Radiation (OStrV) entered into force on 27 July 2010 (BGBl I No. 38 p. 960). This transposes the three EU occupational health and safety directives on noise, vibration and artificial optical radiation into national law.
Egal, ob in kleinen oder großen Betrieben, die Vorschriften der OStrV gewährleisten mehr Sicherheit und Gesundheitsschutz für Beschäftigte am Arbeitsplatz.	Whether in small or large companies, the OStrV regulations ensure more safety and health protection for employees in the workplace.
Gesundheitsgefährdende künstliche optische Strahlung tritt insbesondere bei Schweißarbeiten, bei der Glas- und Quarzverarbeitung, bei der Metallherstellung und -verarbeitung sowie bei den immer häufiger anzutreffenden Laseranwendungen auf. Optische Strahlung aus künstlichen Strahlungsquellen (z.B. Laser oder UV-/IR-Strahlung) kann bei Exposition zu ernsthaften Augen- und Hautschäden führen und damit die Gesundheit und die Sicherheit von Beschäftigten an vielen Arbeitsplätzen gefährden. Kurzfristige Schädigungen zeigen sich beispielsweise in Form von Verbrennungen der Haut und Schädigungen an der Horn-, Binde- sowie der Netzhaut der Augen. Langfristig hohe Expositionen der Haut mit intensiver UV-Strahlung können Spätfolgen in Form von Hautkrebs auslösen.	Artificial optical radiation that is hazardous to health occurs in particular during welding work, glass and quartz processing, metal production and processing, as well as in laser applications, which are becoming increasingly common. Optical radiation from artificial radiation sources (e.g. lasers or UV/IR radiation) can cause serious eye and skin damage when exposed and thus endanger the health and safety of workers in many workplaces. Short-term damage can take the form of burns to the skin and damage to the cornea, conjunctiva and retina of the eyes. Long-term high exposure of the skin to intense UV radiation can cause late effects in the form of skin cancer.
Bei der Anwendung von Lasern ergibt sich ein hohes Gefährdungspotential für die Beschäftigten aufgrund der hohen Energiedichte der erzeugten Laserstrahlung. Bestrahlungen durch Hochleistungslaser führen ohne zwingend einzuhaltende Schutzmaßnahmen meist unmittelbar zu	When using lasers, there is a high risk potential for employees due to the high energy density of the generated laser radiation. Without mandatory protective measures, irradiation by high-power lasers usually leads directly to severe and irreversible damage to the eyes and skin.

schwersten und irreversiblen Schädigungen der Augen und der Haut. Bei der Verwendung von besonders gefährlichen Lasern in den Betrieben schreibt die Verordnung daher konsequent die Anwesenheit eines sachkundigen Laserschutzbeauftragten vor. Die Anwendungsgebiete sind vielfältig und sind zum Beispiel bei der Materialbe- und verarbeitung, in der Medizin oder bei der elektronischen Datenverarbeitung zu finden. Die präventiven Maßnahmen der OStrV sollen sowohl zur Verbesserung der Sicherheit und des Gesundheitsschutzes der Beschäftigten als auch zur Kostensenkung bei den sozialen Sicherungssystemen beitragen. Der Ausschuss für Betriebssicherheit hat zwei technische Regeln zur praxisgerechten Konkretisierung der Vorschriften der OStrV erarbeitet. Bei Anwendung dieser Technischen Regeln kann der Arbeitgeber davon ausgehen, dass er die Bestimmungen der OStrV eingehalten hat (Vermutungswirkung). Die Technischen Regeln zu den Bereichen "Inkohärente optische Strahlung" und "Laserstrahlung" sind vom BMAS im Gemeinsamen Ministerialblatt veröffentlicht worden. Die Technischen Regeln sowie andere Informationen zum Bereich optische Strahlung sind über die Internetseiten der BAuA verfügbar.	When using particularly dangerous lasers in companies, the ordinance therefore consistently prescribes the presence of a competent laser protection officer. The areas of application are diverse and can be found, for example, in material processing, in medicine or in electronic data processing. The preventive measures of the OStrV are intended to contribute both to improving the safety and health protection of workers and to reducing the costs of the social security systems. The Committee for Occupational Safety has developed two technical rules for the practical implementation of the provisions of the OStrV. When applying these technical rules, the employer can assume that he has complied with the provisions of the OStrV (presumption of conformity). The Technical Rules on "Incoherent Optical Radiation" and "Laser Radiation" have been published by the BMAS in the Joint Ministerial Gazette. The technical rules and other information on optical radiation are available on the BAuA website. 職場における人工光線 人工光線の危険からの労働者の保護に関する規則（OStrV）が 2010 年 7 月 27 日に発効しました（BGBl I No.38 p.960）。 これは、騒音、振及び人工光線に関する EU の 3 つの労働安全衛生指令を国内法に移管したものです。
---	--

	中小企業であれ大企業であれ、OStrV 規則は職場の被雇用者の安全及び健康をより確実に保護するものです。 健康に有害な人工光線は、特に溶接作業、ガラス及び石英の加工、金属の製造及び加工並びに一般的になりつつあるレーザー応用で発生します。 人工光線の光源（レーザー又は紫外線・赤外線等）は、浴びると目や皮膚に深刻なダメージを与え、多くの職場で働く人の健康と安全を脅かします。 短期的な損傷は、皮膚の火傷並びに目の角膜、結膜及び網膜の損傷という形で現れることがあります。 長期的に強い紫外線を皮膚に浴びると、皮膚がんという形で晩発性障害が起こる可能性があります。 レーザーを使用する場合には、発生するレーザー光のエネルギー密度が高いため、被雇用者に高いリスクをもたらす可能性があります。 強制的な保護措置がなければ、高出力レーザーの照射は通常、目及び皮膚への深刻かつ不可逆的な損傷に直接つながります。 そのため、企業で特に危険なレーザーを使用する場合には、この規則では一貫してレーザー保護責任者の立会いを規定しています。 レーザーは、材料加工、医療、電子データ処理等、さまざまな分野で利用されています。 OStrV の予防措置は、労働者の安全及び健康保護の向上さらには社会保障制度のコスト削減の両方に寄与することを目的としています。
--	--

	労働安全委員会は、OStrV の規定を実際 to 実施するために 2 つの技術規則を作成しました。 これらの技術規則を適用する場合には、使用者は OStrV の規定を遵守している と見なすことができます（適合性の推定）。 「非干渉性光放射」及び「レーザー放射」に関する技術規則は、BMAS によって合同官報に掲載されました。 光放射に関する技術規則等は、BAuA のホームページで公開されています。
--	---

Elektromagnetische Felder Die Verordnung zum Schutz der Beschäftigten vor Gefährdungen durch elektromagnetische Felder - EMFV ist am 15. November 2016 in Kraft getreten. Mit dieser Verordnung kommt Deutschland seiner europäischen Verpflichtung nach, die europäische Arbeitsschutz-Richtlinie 2013/35/EU zu elektromagnetischen Feldern national umzusetzen. Die EMF-Arbeitsschutzverordnung stützt sich auf das Arbeitsschutzgesetz (ArbSchG) und orientiert sich an der Konzeption der Arbeitsschutzverordnungen zu physikalischen Einwirkungen (Lärm und Vibrationen; künstliche optische Strahlung). Die Anforderungen der EMFV werden Anfang 2019 durch ein praxistaugliches Technisches Regelwerk konkretisiert. Dadurch wird die	Electromagnetic fields The Ordinance on the Protection of Workers against Risks from Electromagnetic Fields - EMFV came into force on 15 November 2016. With this ordinance, Germany fulfils its European obligation to implement the European Occupational Health and Safety Directive 2013/35/EU on electromagnetic fields nationally. The EMF Occupational Health and Safety Ordinance is based on the Occupational Health and Safety Act (ArbSchG) and is oriented towards the concept of the occupational health and safety ordinances on physical effects (noise and vibrations; artificial optical radiation). The requirements of the EMFV will be concretised at the beginning of 2019 by a practicable set of technical regulations. This will facilitate the
--	---

Anwendung der Verordnung in den Betrieben erleichtert. Das Regelwerk wird durch den Ausschuss für Betriebssicherheit (ABS) erarbeitet, welcher das Bundesministerium für Arbeit und Soziales (BMAS) zu allen Fragen des Arbeits- und Gesundheitsschutzes in Bezug auf elektromagnetische Felder am Arbeitsplatz berät. Für die Technischen Regeln werden detaillierte Angaben zur Berücksichtigung des Standes der Technik, zum konkreten Vorgehen bei einer Gefährdungsbeurteilung von EMF am Arbeitsplatz und der Bewertung von Messergebnissen und Berechnungen erarbeitet. Dies schließt auch Präventions- und Schutzmaßnahmen für die Beschäftigten sowie Festlegungen zur Gesundheitsüberwachung und Durchführung von Unterweisungen als auch Festlegungen zur Schulung der Beschäftigten ein. Arbeitgeber, die diese Regeln in Ihrem Betrieb anwenden, können davon ausgehen, dass sie die Vorschriften der EMF-Verordnung eingehalten haben (Vermutungswirkung).	application of the ordinance in companies. The regulations are being developed by the Committee for Industrial Safety (ABS), which advises the Federal Ministry of Labour and Social Affairs (BMAS) on all occupational health and safety issues relating to electromagnetic fields at the workplace. For the technical rules, detailed information on the consideration of the state of the art, on the concrete procedure for a risk assessment of EMF at the workplace and the evaluation of measurement results and calculations are developed. This also includes preventive and protective measures for employees as well as specifications for health surveillance and the implementation of instructions as well as specifications for the training of employees. Employers who apply these rules in their company can assume that they have complied with the provisions of the EMF Regulation (presumption of conformity).
	電磁波について 2016 年 11 月 15 日に「電磁波によるリスクからの労働者の保護に関する規則 - EMFV」が発効されました。 この規則により、ドイツは電磁場に関する欧州労働安全衛生指令 2013/35/EU を全国的に実施する欧州の義務を果たしています。 EMF 労働安全衛生規則は、労働安全衛生法（ArbSchG）に基づき、物理的影響（騒音及び振動、人工光放射）に関する労働安全衛生規則の考え方を指向しています。

	EMFV の要件は、2019 年初めに実用的な技術規則によって具体化される予定です。 これにより、企業における規則の適用が容易になります。 この規則は、職場の電磁界に関するあらゆる労働安全衛生問題について連邦労働社会省（BMAS）に助言を行う産業安全委員会（ABS）によって策定されています。 技術的な規則については、現状への配慮、職場における電磁波のリスクアセスメントの具体的な手順、測定結果及び計算結果の評価に関する詳細な情報を整備しています。 また、被雇用者の予防及び保護対策並びに健康監視の仕様及び指示の実施、被雇用者教育についても規定されています。 これらの規則を社内で適用する使用者は、EMF 規則の規定を遵守しているとみなすことができます（適合性の推定）。
--	---

（４）ドイツ連邦政府労働社会問題省の関連するウェブサイト（下記参照）に 2021 年 5 月 20 日付けで掲載されていた「OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH」（労働安全衛生）に関する解説記事について

現時点（2023 年 7 月 31 日並びに 2024 年 2 月 26 日及び 10 月 21 日）では原典が削除されたように見当たりませんが、その内容は依然参考になるものであると判断して、「英語原文—日本語仮訳」として紹介することを踏襲いたします。

（資料作成者注：この解説記事は、ドイツ連邦政府労働社会問題省が労働安全衛生に関して重点と考えている事項に関するものですので、その重要性を踏まえて本稿で、「英語原文—日本語仮訳」の形式で紹介するものです。）

[原典の所在]：<https://www.bmas.de/EN/Labour/Occupational-Safety-and-Health/occupational-safety-and-health.html>（2024 年 2 月 26 日及び 10 月 17 日に再確認しました。）

[原典の名称]：OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH 08,.May 2023

[著作権について]：ドイツ連邦政府労働社会問題省のウェブサイトには著作権の保持に関する記述が見当たらないので、本稿ではその出典を明らかにしつつ、この紹介を行うものです。

英語原文	左欄の日本語仮訳
OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH 08,.May 2023	労働安全衛生 2023 年 5 月 8 日
Occupational Safety and Health Employees need safety. They must be protected from occupational safety and health risks. Occupational safety and health (OSH) provides this protection.	労働安全衛生 被雇用者には安全が必要です。彼等は労働安全衛生上のリスクから保護されなければなりません。労働安全衛生（OSH）はこの保護を提供します。

Responsibility for occupational safety and health in the workplace lies with your employer. Employers must set up and maintain the tools, machines, and equipment, etc., the entire workplace, so that as an employee	職場における労働安全衛生の責任は、使用者にあります。 使用者は、被雇用者であるあなたが安全及び健康のリスクから守られるように、職場全体の道具、機械、設備等を設置し、維持しなければなりません。
---	--

you are protected from safety and health risks. They must take action to prevent accidents at work and work-related health risks, and to provide ergonomic workplace organisation and design. They must do this by law, under national occupational safety and health provisions – notably the Occupational Safety and Health Act (Arbeitsschutzgesetz) and ordinances (secondary legislation) based on it – and accident prevention regulations published by the accident insurance funds.	また、使用者は、職場での事故及び作業に関連する健康リスクを防止し、人間工学に基づいた職場の組織及び設計を行うための措置を講じなければなりません。これは、国の労働安全衛生規定、特に労働安全衛生法 (Arbeitsschutzgesetz) (下記の資料作成者注 1 を参照されたい。) 並びにそれに基づく規則 (第 2 次法制) 及び災害保険基金が発行する事故防止規則に基づいて、法律上の義務として実施しなければなりません。 ○資料作成者注 1：ドイツ連邦政府労働社会問題省は、しばしば、英文のテキストで、「<i>the Occupational Safety and Health Act</i>：労働安全衛生法」として「労働時の就業者の安全及び保健を改善するための労働保護措置の実施に関する法律 (略称「労働保護法」)」。ドイツ語原文では “<i>Gesetz über die Durchführung von Maßnahmen des Arbeitsschutzes zur Verbesserung der Sicherheitsschutzes der Beschäftigten bei der Arbeit</i>(Arbeitsschutzgesetz)” との法律名を使用しています。この法律については、既に中央労働災害防止協会技術支援部国際課が 2021 年 2 月 3 日に公表している「ドイツの労働安全衛生関係法令の概要」中の「IV－1－1 労働時の就業者の安全及び衛生を改善するための労働保護措置の実施に関する法律 (略称：労働保護法)」：https://www.jisha.or.jp/international/country/germany.html を参照してください。
--	--

Occupational safety and health involves for example the following areas: ● The workplace, including workplace hygiene ● Tools, machinery, and equipment	労働安全衛生には、例えば次のような分野があります。 ● 職場（職場衛生を含む。） ● 工具、機械及び設備
---	--

● Hazardous substances ● Working hours and rest periods ● Organisation of workplace occupational safety and health ● Preventive occupational health care ● Load handling ● Biological agents ● Noise and vibrations ● Artificial optical radiation ● Electromagnetic fields Benefits/eligibility The rules and regulations on occupational safety and health apply to all employees, including in agriculture and public service.	● 危険有害物質 ● 労働時間及び休憩時間 ● 職場の労働安全衛生の組織化 ● 予防的な労働衛生管理 ● 荷役作業 ● 生物的因子 ● 騒音及び振動 ● 人工光線 ● 電磁場 特典/資格 労働安全衛生に関する規程及び規則は、農業部門及び公務サービスを含むすべての被雇用者に適用されます。
--	--

Children and adolescents enjoy special protection under the Act on the Protection of Young People at Work (Jugendarbeitsschutzgesetz). Of this group, only adolescents – defined for this purpose as persons aged from 15 to 17 – are normally allowed to work.	児童及び青少年は、労働における青少年の保護に関する法律（Jugendarbeitsschutzgesetz）により、特別な保護を受けることができます。このうち、青少年（ここでは15歳から17歳までと定義されています。）だけが、通常、働くことが許されています。
--	--

Employees are insured against occupational accidents and diseases with a statutory accident insurance fund (see also the Accident insurance chapter). For most employees this will be one of the occupational accident insurance funds for the industrial sector (gewerbliche Berufsgenossenschaft), whose members are employers.	被雇用者は、労働災害及び疾病に対して、法定災害保険基金に加入しています（「災害保険」の章も参照してください。）。 ほとんどの被雇用者にとって、これは、使用者を会員とする産業部門（gewerbliche Berufsgenossenschaft）の労働災害保険基金の一つになるでしょう。
--	--

The occupational accident insurance funds have set up technical inspectorates. Together with the occupational safety and health inspectorates in the various Länder, these make sure that all occupational safety and health requirements are strictly observed and that all available protective equipment	労働災害保険基金は技術監督局を設立しています。 各州の労働安全衛生監督局と協力して、彼等は、すべての労働安全衛生要件が厳密に遵守されているか、及び利用可能なすべての保護具が使用されているかを確認します。
---	--

Legal basis Stipulations on occupational safety and health are to be found in various acts and ordinances, and in the accident prevention regulations published by the occupational accident insurance funds.	法的根拠 労働安全衛生に関する規定は、各種の法律及び規則、労働災害保険基金が発行する災害防止規程に規定されています。
---	--

Occupational safety and health rules and regulations can apply to specific sectors of trade and industry, for specific types of manufacturing plants, for workplace organisation and design, and so on. Other examples include: ● Rules on the use and characteristics of machinery and equipment; ● Rules on the use of specific substances that are needed in production processes; ● Rules that apply to specific groups of people.	労働安全衛生の規程及び規則は、貿易及び産業の特定の分野、特定の種類の製造工場、職場の組織及び設計等に適用されることがあります。その他の例としては、以下のようなものがあります。 ● 機械及び設備の使用及び特性に関する規程 ● 生産工程で必要とされる特定の物質の使用に関する規程 ● 特定の集団に適用される規程
--	---

Your obligations	あなたの義務
-------------------------	---------------

Not all hazards and sources of danger can be eliminated or avoided by technical or organisational means. There will always be hazards in any workplace. As an employee, this means you must follow safe working practices and support your employer with regard to safety precautions. These obligations are laid down in the Occupational Safety and Health Act. Accident prevention regulations also include rules on conduct for all employees who use tools and equipment. As an employee, you are also required to observe rules of conduct specifically devised by your employer for your workplace. In case of health problems in the workplace you have the right to preventive occupational health care.	すべての危険有害因子及び危険源が、技術的又は組織的な手段によって除去し、若しくは回避できるわけではありません。どのような職場にも必ず危険は存在します。このことは、被雇用者として、あなたは、安全な作業方法を守り、安全対策に関して使用者を支援しなければならないことを意味します。これらの義務は、「労働安全衛生法」に規定されています。 また、事故防止に関する規則には、工具及び機器を使用するすべての被雇用者の行動に関する規則も含まれています。さらに、被雇用者として、使用者が職場のために特別に考案した行動規則を遵守する必要もあります。 職場で健康問題が発生した場合には、あなたは予防的な労働衛生管理を受ける権利を有します。
---	---

Key occupational safety and health legislation Occupational Safety and Health Act The Occupational Safety and Health Act (Arbeitsschutzgesetz) requires your employer to assess psychological and physical health hazards at the workplace, take appropriate preventive measures, and inform you about the measures applied. Your employer must take precautions for especially hazardous areas and situations and provide preventive occupational health care. If you are in immediate danger, you have the right to leave your workplace without fearing for your job. The Act gives you the right to submit suggestions on all workplace occupational safety and health matters. You can also complain to the inspectorates about inadequate occupational safety and health provision at your workplace without fear of retribution if you have	労働安全衛生に関する主な法制 労働安全衛生法 労働安全衛生法（Arbeitsschutzgesetz）は、あなたの使用者に対して、職場における心理的及び身体的な健康障害を評価し、適切な予防措置を講じ、適用される措置についてあなたに通知することを義務付けています。 あなたの使用者は、特に危険な場所及び状況に対して予防措置を講じ、予防的な労働衛生管理を提供しなければなりません。 差し迫った危険がある場合には、あなたには職を危ぶむことなく職場を離れる権利があります。この法律では、あなたに、職場の労働安全衛生に関するすべての事柄について提案を提出する権利を与えています。また、既に使用者に苦情を申し立てたが何も対処されなかった場合には、あなたは、報復を恐れることなく、職場の労働安全衛生の不備について監督局に苦情を申し立てることが
---	---

already taken a complaint to your employer and nothing has been done about it.	できます。
--	-------

Occupational Safety Act The Occupational Safety Act (Arbeitssicherheitsgesetz) requires employers to appoint occupational physicians (Betriebsärzte) and occupational safety and health (OSH) professionals holding a recognised occupational safety and health qualification (to support them in occupational safety and health matters, including ergonomic workplace organisation and design. The duties of the occupational safety and health experts include advising employers on the entire range of safety and health factors in the working environment. This begins with the planning of operating facilities, the purchasing of equipment and workplace organisation and design, and extends to advising employers in the assessment of working conditions. Among other things, occupational physicians are responsible for advising on the integration and reintegration of persons with disabilities. The Act is supplemented by German Social Accident Insurance (DGUV) Regulation 2, the Accident Prevention Regulation on Occupational Physicians and OSH Professionals (DGUV-Vorschrift 2, Unfallverhütungsvorschrift Betriebsärzte und Fachkräfte für Arbeitssicherheit).	労働安全法 労働安全法（Arbeitssicherheitsgesetz：資料作成者注：前述したように「労働保護法」である。）は、使用者に対して、産業医（Betriebsärzte）及び労働安全衛生に関する認定資格を有する労働安全衛生（OSH）専門家（人間工学に基づく職場の組織及び設計を含む労働安全衛生に関する事項を支援する。）を任命することを義務づけています。労働安全衛生専門家の職務には、労働環境における安全衛生要因全般について使用者に助言することが含まれます。 これは、操業施設の計画、機器の購入、職場の組織及び設計に始まり、労働条件の評価における使用者への助言にまで及びます。 特に産業医は、障害者の統合及び社会復帰について助言する責任を負っています。 この法律は、ドイツ法定災害保険（DGUV）規則 2、産業医と OSH 専門家に関する事故防止規則（DGUV-Vorschrift 2, Unfallverhütungsvorschrift Betriebsärzte und Fachkräfte für Arbeitssicherheit）によって補足されています。 ○資料作成者注 2：「ドイツ法定災害保険（DGUV）規則 2、産業医及び OSH 専門家に関する事故防止規則（DGUV-Vorschrift 2, Unfallverhütungsvorschrift Betriebsärzte und Fachkräfte für Arbeitssicherheit）については、既に中央労働災害防止協会技術支援部国際課が、次のウェブサイト https://www.iisha.or.jp/international/sougou/pdf/germany202101_04.pdf
--	--

	で、「(3) <i>DGUV Vorschrift 2</i> の英語版目次」及び「(4) 英語版 <i>DGUV Vorschrift 2</i> の第 1 条から第 5 条までを抜粋した日本語仮訳」等として主要な内容を紹介していますので、必要に応じて参照してください。
--	--

Working Time Act The Working Time Act (<i>Arbeitszeitgesetz</i>) lays down the maximum length of the working day, minimum breaks during working hours, and minimum periods of rest after work for the protection of employee safety and health. Specific protection is provided for night workers regardless of gender. There is a general ban on Sunday and holiday working, with exceptions subject to certain requirements.	労働時間法 労働時間法 (<i>Arbeitszeitgesetz</i>) は、労働者の安全及び健康を守るために、1 日の最長労働時間、労働時間中の最低休憩時間及び労働後の最低休息時間を定めています。 夜間労働者については、性別に関係なく特別な保護が与えられています。日曜日及び祝日の労働は原則禁止されていますが、一定の要件を満たす場合は例外となります。
--	---

Act on the Protection of Young People at Work The Act on the Protection of Young People at Work (<i>Jugendarbeitsschutzgesetz</i>) protects children and young people from overwork. For example, it specifies a minimum working age, how long minors may work, and how much annual paid leave they must be granted. The Ordinance on the Protection of Children at Work (<i>Kinderarbeitsschutzverordnung</i>) sets out in greater detail the types of light employment allowed by way of exception and deemed suitable under the Act on the Protection of Young People at Work for children from age 13 and for older children required to attend school full time.	職場における青少年の保護に関する法律 職場の若者の保護に関する法律 (<i>Jugendarbeitsschutzgesetz</i>) は、子供及び若者を過労から守るための法律です。 例えば、同法は、最低労働年齢、未成年者の労働時間、年次有給休暇の付与等を規定しています。 労働における児童の保護に関する規則 (<i>Kinderarbeitsschutzverordnung</i>) は、例外的に認められる軽労働の種類と及び 13 歳以上の児童及びフルタイムで学校に通う必要のある年長の児童の労働における若年者保護に関する法律に基づいて適切とみなされるものについて、より詳細に定めています。
--	--

Product Safety Act Only safe products are allowed to be brought into free circulation within the European Union. Accordingly, only products that meet various safety and other requirements are allowed to be marketed and sold in Germany. This applies equally to consumer products and to products used by employees in the course of their work. The legal basis for this comprises the Product Safety Act (Produktsicherheitsgesetz) and the Product Safety Ordinances issued under it (which transpose European directives into national law) together with EU regulations that have direct effect and corresponding national implementing acts.	製品安全法 欧州連合内では、安全な製品だけが自由に流通することが許されています。そのため、ドイツ国内では、安全性及びその他のさまざまな要件を満たした製品のみが販売されることになっています。これは、消費者向け製品にも、被雇用者が業務で使用する製品にも同様に適用されます。 この法的根拠は、製品安全法（Produktsicherheitsgesetz）及びその下で発行された製品安全規則（欧州指令を国内法に移管したもの）並びに直接効力を有する EU 規則及び対応する国内施行法から構成されています。
Ordinance on Preventive Occupational Health Care Occupational health care serves the purposes of individual awareness-raising and employee consultation on interactions between work and health and is an important adjunct to technical and organisational occupational safety and health measures. Its objectives include preventing work-related illness and maintaining employability. The Ordinance on Preventive Occupational Health Care (Verordnung zur arbeitsmedizinischen Vorsorge) lays down obligations on employers and physicians, guarantees employee rights, provides transparency regarding the need for mandatory and optional preventive check-ups, and strengthens employees' entitlement to voluntary check-ups. It stipulates a general separation of occupational health care and aptitude physicals, the admissibility of which is governed by labour law and data protection law. The ordinance is supplemented by occupational health rules. Drawing up rules in line with current occupational health knowledge and of occupational health	予防的労働衛生管理に関する省令 労働衛生管理は、作業と健康との相互作用に関する個人の意識向上及び被雇用者へのコンサルティングを目的とし、技術的及び組織的な労働安全衛生対策の重要な補助となるものです。 その目的は、業務上の疾病を予防し、雇用能力を維持することにあります。予防的職業保健に関する規則（Verordnung zur arbeitsmedizinischen Vorsorge）は、使用者及び医師の義務を定め、被雇用者の権利を保証し、義務的及び任意的な予防検診の必要性について透明性を確保し、被雇用者の任意検診の権利を強化するものです。 この法律では、労働衛生管理と適性診断との一般的な分離が規定されており、その許容性は労働法及びデータ保護法によって管理されています。 この規則は、労働衛生規制によって補完されています。 現在の労働衛生の知識及び労働衛生の勧告に沿った規則を作成することは、労働衛生委員会（Ausschuss für Arbeitsmedizin）の責任の一つです。

recommendations is among the responsibilities of the Occupational Health Committee (Ausschuss für Arbeitsmedizin).	○資料作成者注 3 Verordnung zur arbeitsmedizinischen Vorsorge, ArbMedVV (労働医学上の注意事項に関する規則、略称 : ArbMedVV) (ドイツ連邦政府 労働社会問題省が英文で公表しているものとしての、 Ordinance on Occupational Health Care (労働衛生管理に関する規則) については、既にその全条文について「英語原文ー日本語仮訳」として次のウェブサイトの 212 ページ以降に公開しているので、必要に応じて参照してください。 : https://www.jisha.or.jp/international/sougou/pdf/germany202101_04.pdf
---	---

Ordinance on the Use of Personal Protective Equipment The Ordinance on the Use of Personal Protective Equipment (PSA-Benutzungsverordnung) relates to the selection, provision and use of personal protective equipment (PPE) in all sectors. Employers must also ensure that employees are instructed in the safe use of such equipment.	個人用保護具の使用に関する規則 個人用保護具の使用に関する規則 (PSA-Benutzungsverordnung) は、すべての部門における個人用保護具 (PPE) の選択、提供及び使用に関するもので、PPE を使用する場合は、PSA-Benutzungsverordnung に従います。また、使用者は、被雇用者に対し、そのような装備の安全な使用について指導することを保証しなければなりません。
--	--

Handling of Loads Ordinance The Handling of Loads Ordinance (Lastenhandhabungsverordnung) governs safety and health in manual load handling where there is a health risk to employees, and particularly where there is danger of lumbar injury. Employers must avoid manual load handling where possible. Where manual load handling cannot be avoided, employers must ensure the maximum level	荷物の取扱いに関する規則 荷物の取扱いに関する規則 (Lastenhandhabungsverordnung) は、被雇用者に健康上のリスクがある場合に、特に腰椎損傷の危険がある場合の手作業による荷物の取扱いにおける安全及び健康について規定するものです。 使用者は、可能な限り手作業による荷物の取扱いを避けなければなりません。手作業による荷役を避けることができない場合には、使用者は被雇用者に対し
--	--

of safety and minimum health risk to employees. For this purpose, working conditions are assessed to decide appropriate occupational safety and health measures	て最大限の安全性及び最小限の健康リスクを確保しなければなりません。そのために、適切な労働安全衛生対策を決定するために、労働条件が評価されます。
---	---

Construction Site Ordinance The provisions of the Construction Site Ordinance (Baustellenverordnung) aim to reduce the enhanced accident and health risks inherent in construction work relative to other industries and to improve the safety and health of construction workers. Key elements include communication of prior notice in a specified manner, the drawing up of a safety and health plan, and the appointment of a coordinator. These elements are calculated to improve the planning and coordination of construction projects so that dangers to employees can be identified and eliminated at an early stage.	建設現場規則 建設現場規則（Baustellenverordnung）の規定は、他の産業と比較して建設作業に内在する事故及び健康リスクの増大を抑え、建設労働者の安全及び健康を向上させることを目的としています。 主な内容としては、指定された方法での事前通知の伝達、安全衛生計画の作成及びコーディネーターの任命があります。 これらの要素は、建設プロジェクトの計画及び調整を改善し、被雇用者への危険を早期に発見して排除できるようにするためのものです。
---	--

Operational Safety Ordinance The Operational Safety Ordinance (Betriebssicherheitsverordnung) sets out objectives and provisions to ensure that the use of tools and machinery does not endanger employee safety and health. It also comprehensively stipulates on measures to protect employees and third parties in the use of installations subject to monitoring. Such equipment includes steam boilers, pressurised containers and elevators.	作業安全規則 作業安全規則（Betriebssicherheitsverordnung）は、工具及び機械の使用が被雇用者の安全及び健康を脅かさないことを保証するための目的及び規定を定めています。また、この規則は、検査対象となる設備の使用において、被雇用者及び第三者を保護するための措置についても包括的に規定しています。 このような設備には、蒸気ボイラー、圧力容器及びエレベーターが含まれます。
--	---

Workplace Ordinance	職場規則
----------------------------	-------------

The Workplace Ordinance (Arbeitsstättenverordnung) specifies how workplaces – factories, workshops, offices and administrations, warehouses, shops, etc. – must be equipped and operated. Employers must ensure that there is no risk to employee safety and health in the operation of workplaces. The Ordinance thus covers a wide range of matters including display screen work, workplace dimensions, ventilation, lighting and temperature.	職場規則 (Arbeitsstättenverordnung) は、工場、作業場、事務所、行政機関、倉庫、店舗等の職場がどのように設置され、そして運営されなければならないかを規定しています。使用者は、職場の運営において、被雇用者の安全及び健康に危険が及ばないようにしなければなりません。 したがって、この規則は、ディスプレイ画面での作業、職場の寸法、換気、照明及び温度を含む幅広い事柄を対象としています。
--	--

Hazardous Substances Ordinance The Hazardous Substances Ordinance (Gefahrstoffverordnung) stipulates on the protection of employees from hazardous substances – primarily hazardous chemicals – at work. Based on the risk assessment the Ordinance gives employers freedom of choice in the selection of workplace-specific protective measures because only they know the full extent of the working conditions at their facilities. Where more detailed stipulations are required, the Hazardous Substances Committee (Ausschuss für Gefahrstoffe/AGS) drafts Technical Rules on Hazardous Substances (Technische Regeln für Gefahrstoffe/TRGS). If these rules are observed, compliance with the Ordinance is presumed. Employers are nonetheless free to implement measures other than those contained in the technical rules as long as they are appropriate, adequate and justifiable. The Ordinance contains a number of annexes setting out	有害物質規則 有害物質規則 (Gefahrstoffverordnung) は、職場における有害物質（主に有害化学物質）からの被雇用者の保護について規定したものです。 リスクアセスメントに基づき、事業所における労働条件の全容を把握しているのは使用者のみであることから、同規則は事業所固有の保護措置の選択について自由裁量権を与えています（資料作成者注：この記述に関して、その根拠となる規定が次の「資料作成者注 4」にあるとおりドイツの危険有害物からの保護規則中にあるかどうか検索しましたが、見当たりませんでした。）。より詳細な規定が必要な場合は、有害物質委員会（Ausschuss für Gefahrstoffe/AGS）が有害物質に関する技術規則（Technische Regeln für Gefahrstoffe/TRGS）を起草しています。これらの規則を遵守している場合には、本規則に準拠しているものとみなされます。 それにもかかわらず、使用者は、適切、十分かつ正当である限り、技術規則に記載されている以外の措置を自由に実施することができます。この規則には、労働安全衛生に関して特に注意を要する特定の分野に関する詳細な規定を定めた一連
---	--

detailed provisions on specific areas requiring particular attention with regard to occupational safety and health.	の附属文書が含まれています。 ○資料作成者注 4: Gefahrstoffverordnung 26. November 2010 危険有害物規則、2010 年 11 月 26 日：ドイツ語原文での略称：Gefahrstoffverordnung - GefStoffV) (英語訳：Hazardous substances Ordinance on protection against hazardous substances：危険有害物からの保護規則)26, November 2010) の全文の「英語版原典—日本語仮訳」については、既に中央労働災害防止協会技術支援部国際課の該当するウェブサイト： https://www.jisha.or.jp/international/sougou/pdf/germany202101_mokuji.pdf で掲載されている内容のうち「IV—2 ドイツ労働社会問題省が制定した主要な労働安全衛生関係の規則」の 10 ページ以降で公表されておりますので、必要に応じて参照してください。
--	---

Biological Agents Ordinance The Biological Agents Ordinance (Biostoffverordnung) provides an up-to-date, cross-sectoral legal framework for the protection of employees from biological agents (microorganisms) at work. Based on a classification of biological agents into risk groups, protective measures are stipulated for the protection of employees against infection and any sensitising or toxicological effects. These provisions protect an estimated five million employees who come into contact with biological agents at work in research, in biotechnical production, and in the food, agriculture, waste disposal, waste water and health care sectors. To address these various areas of application in a single piece of legislation, the Ordinance takes an underlying approach of stipulating uniform and flexible basic rules allowing employers to lay down	生物学的因子規則 生物学的因子規則 (Biostoffverordnung) は、職場における生物学的因子 (微生物) から被雇用者を保護するための、最新の分野横断的な法的枠組みを提供するものです。生物学的因子をリスクグループに分類したことに基づき、感染及び感作性又は毒性作用から被雇用者を守るための保護措置が規定されています。 これらの規定は、研究、バイオテクノロジー生産、食品、農業、廃棄物処理、排水、医療等の分野で、職場で生物学的病原体に接触する推定 500 万人の被雇用者を保護するものです。 これらの様々な適用分野に一つの法制で対応するため、この規則は、統一かつ柔軟な基本規則を規定し、使用者が特定の職場のリスク状況に応じて被雇用者を保護するための措置を定め、実施できるようにするという基本的アプローチをとっています。
--	---

and implement measures to protect employees in accordance with the specific workplace risk situation. The Committee on Biological Agents (Ausschuss für Biologische Arbeitsstoffe/ABAS) provides detailed stipulations in Technical Rules for Biological Agents (Technische Regeln für Biologische Arbeitsstoffe/TRBA). Issues such as bird flu and H1N1 (swine flu) make the protection of employees who come into contact with such pathogens a focal point of everyday activity. The Biological Agents Ordinance and the associated Technical Rules also provide for safety measures, notably for health care employees, in the event of hazards from highly pathogenic viruses such as the globally feared Ebola virus and the novel SARS-CoV-2 virus.	生物学的因子委員会（Ausschuss für Biologische Arbeitsstoffe/ABAS）は、生物学的因子に関する技術規則（Technische Regeln für Biologische Arbeitsstoffe/TRBA）で詳細な規定を与えています。 鳥インフルエンザ及び H1N1（豚インフルエンザ）のような問題により、このような病原体に接触する被雇用者の保護は、日常業務の中心的なポイントとなっています。また、生物学的因子規則と関連する技術規則では、世界的に恐れられているエボラウイルス及び新型の SARS-CoV-2 ウイルスのような、高病原性ウイルスによる危険性がある場合に、特に医療従事者の安全対策について定めています。 ○資料作成者注 5：ドイツの「生物学的因子規則」のあらましについては、既に中央労働災害防止協会技術支援部国際課が 2021 年 2 月 3 日に公表した「IV—2 ドイツ労働社会問題省が制定した主要な労働安全衛生関係の規則」（https://www.jisha.or.jp/international/sougou/pdf/germany202101_04.pdf）中の「(6)Biologische Arbeitsstoffe、Verordnung über Sicherheit und Gesundheitsschutz bei Tätigkeiten mit Biologischen Arbeitsstoffen (Biostoffverordnung -BioStoffV), 15.07.2013, Biological Agents, Regulation on safety and health at work with biological materials (Biostoffverordnung -BioStoffV) 07/15/2013(生物学的因子、職場における生物学的物質による安全健康規則、2013 年 7 月 15 日)で紹介していますので、必要に応じて参照してください。
--	---

Noise and vibrations in the workplace The Ordinance on the Control of Noise and Vibrations in the Workplace	職場の騒音及び振動 職場における騒音及び振動の管理に関する規則 (Verordnung zu Vibrationen und
--	---

(Verordnung zu Vibrationen und Lärm an Arbeitsplätzen) is designed to prevent noise-induced hearing loss (one of the most frequent work-related disorders), muscular and skeletal disorders, and neurological disorders that can arise from long periods of exposure to strong vibrations.	Lärm an Arbeitsplätzen) は、騒音性難聴（最も頻繁に起こる作業関連障害の一つ）並びに強い振動に長時間さらされることに起因する筋骨格系の障害及び神経障害を防止するために制定されたものです。 ○資料作成者注 7：騒音及び振動の保護、騒音及び振動から生ずるリスクから労働者を保護する規則、2007 年 3 月 15 日のあらましについては、既に中央労働災害防止協会技術支援部国際課が 2021 年 2 月 3 日に公表した「IV—2 ドイツ労働社会問題省が制定した主要な労働安全衛生関係の規則」(https://www.jisha.or.jp/international/sougou/pdf/germany202101_04.pdf 中の 61~62 ページで紹介していますので、必要に応じて参照してください。
---	--

Ordinance on Occupational Safety and Health Protection of Workers Exposed to Artificial Optical Radiation The Occupational Safety and Health Ordinance on Artificial Optical Radiation (Arbeitsschutzverordnung zu künstlicher optischer Strahlung) focuses on protecting employees from risks of artificial optical radiation at work, which can arise e.g. due to the exposure to laser beams or sources of ultraviolet light and their harmful effects.	人工光線にさらされる労働者の労働安全衛生保護に関する規則 人工光線に関する労働安全衛生規則 (Arbeitsschutzverordnung zu künstlicher optischer Strahlung) は、レーザー光線又は紫外線源へのばく露及びその有害な影響等により発生する可能性のある、職場における人工光線のリスクから被雇用者を守ることに焦点を合わせています。 （資料作成者注 6：「騒音及び振動の保護、騒音及び振動から生ずるリスクから労働者を保護する規則、2007 年 3 月 15 日」のあらましについては、既に中央労働災害防止協会技術支援部国際課が 2021 年 2 月 3 日に公表した「IV—2 ドイツ労働社会問題省が制定した主要な労働安全衛生関係の規則」(https://www.jisha.or.jp/international/sougou/pdf/germany202101_04.pdf) 中の 63~70 ページに掲載されておりますので、必要に応じて参照してください。
---	---

Occupational Safety and Health Ordinance on Electromagnetic Fields	電磁場に関する労働安全衛生規則
--	-----------------

The Occupational Safety and Health Ordinance on Electromagnetic Fields (EMF Ordinance) (Arbeitsschutzverordnung zu elektromagnetischen Feldern) protects the safety and health of employees from risks arising from electromagnetic fields at work by preventing e.g. interference with medical implants (such as pacemakers), the stimulation of nerves or tissue damage due to overexposure.	電磁場に関する労働安全衛生規則（EMF 規則）（Arbeitsschutzverordnung zu elektromagnetischen Feldern）は、医療用インプラント（ペースメーカーのようなもの）への干渉、過度のばく露による神経への刺激又は組織損傷を防止し、職場で生じる電磁波によるリスクから被雇用者の安全及び健康を守るためのものです。 （資料作成者注 7: 「電磁場障害 (EMFV) に対する被雇用者の保護に関する規則」のあらましについては、既に中央労働災害防止協会技術支援部国際課が 2021 年 2 月 3 日に公表した「IV—2 ドイツ労働社会問題省が制定した主要な労働安全衛生関係の規則」(https://www.jisha.or.jp/international/sougou/pdf/germany202101_04.pdf) 中の 63～70 ページに掲載されておりますので、必要に応じて参照してください。)
New Quality of Work Initiative The New Quality of Work Initiative (Initiative Neue Qualität der Arbeit/INQA) is a joint initiative in which stakeholders from government, business, the unions, research and civil society have joined forces to seek practicable solutions for making working conditions both more attractive, motivating and healthy for employees and more conducive to innovation and economically viable for employers. The New Quality of Work Initiative cuts across otherwise conflicting interests by providing an independent, non-party-political platform with broad employer and union support for constructive, practice-focused exchange. The New Quality of Work Initiative brings together all those seeking to shape employment in Germany, providing a wide range of opportunities for	新しい労働の質政策 新しい労働の質政策（Initiative Neue Qualität der Arbeit/INQA）は、政府、企業、労働組合、研究機関及び市民社会の関係者が力を合わせ、被雇用者にとってより魅力的で意欲的かつ健全な労働条件を、使用者にとってはイノベーション及び経済性を促進するための実践的解決策を模索する共同政策です。 新しい労働の質政策は、建設的で実践に焦点を当てた意見交換のために、使用者及び労働組合の幅広い支持を受け、独立した非政党的なプラットフォームを提供することによって、他の相反する利害関係を断ち切ります。 新しい労働の質政策は、ドイツの雇用を形成しようとするすべての人々を集め、幅広い交流の機会、敷居が低く実践に重点を置いたアドバイス及び情報サービ

exchange, low-threshold and practice-focused advice and information services, practical tools, funding programmes, and a website including inspiring real-life examples. The Federal Ministry of Labour and Social Affairs, employer associations and unions, chambers, the Federal Employment Agency, the Conference of Ministers for Labour and Social Affairs, the Federation of German Local Authority Associations, social insurance funds and foundations work closely together to this end. Demographic change and structural upheavals in the labour market make it increasingly urgent for the public and private sector to position themselves as attractive employers as they compete for skilled labour and to be innovative in recruitment. Developments in the labour force place special importance on investing in employee loyalty and establishing an employee-centric organisational culture. Shaping good, healthy and motivating working conditions for employees is a key element here. This is where the New Quality of Work Initiative comes in. Its central aim is to raise awareness in both the public and the private sector for these interdependencies and for low-threshold, practice-focused solutions.	ス、実用的なツール、資金援助プログラム並びに刺激的な実例を含むウェブサイトを提供しています。 連邦労働社会問題省、使用者団体及び労働組合、商工会議所、連邦雇用庁、労働社会問題担当大臣会議、ドイツ地方自治体連合会並びに社会保険基金及び財団が緊密に連携して、この目的のために活動しています。 人口動態の変化及び労働市場の構造的な激変により、官民ともに熟練労働者の獲得競争において魅力的な使用者としての位置付けそして採用における革新性がますます急務となっています。 労働力の発展により、被雇用者の忠誠心に投資し、被雇用者を中心とした組織文化を確立することが特に重要視されています。 被雇用者にとって良好で健康的、かつ、意欲的な労働条件を形成することは、ここでの重要な要素です。 そこで登場したのが新しい労働の質政策（New Quality of Work Initiative）です。 その中心的な目的は、官民両セクターにおいて、これらの相互依存関係に対する認識を高め、そして敷居の低い、実践に重点を置いた解決策を提供することです。
--	--